

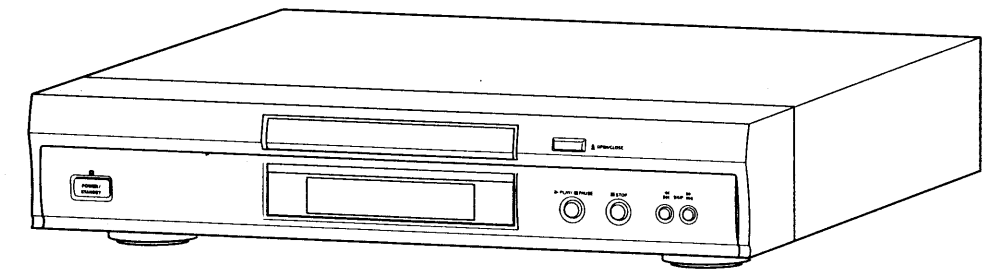
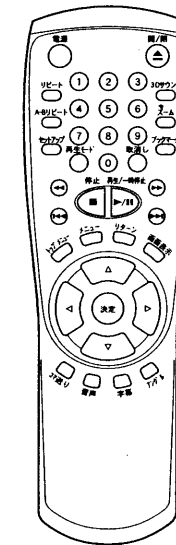
HITACHI

日立DVDプレーヤー

形名

DV-P305

取扱説明書



このたびは日立DVDプレーヤーをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機をご使用前によくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」と一緒に保管してください。

●業務用には対応していません。

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

はじめに

準備

基本操作

応用操作

設定

ご参考

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意	7
本書の見かた	8
付属品をご確認ください	9
特長	10
ディスクについて	11

準備

ディスクの取り扱い	12
リモコンの取り扱い	13
各部の名称	14
他の機器と接続する	16

基本操作

再生する	18
操作を終了する	19
チャプター/トラックを進める・戻す	20
静止画/コマ送りにする	21
ディスクのメニュー画面から再生する	22
トップメニュー画面から再生する	23
タイトル/チャプター/トラックを指定して再生する	24
音声言語/字幕言語/ボリュームコントロールを設定する	25
時間を指定して再生する	26
繰り返して再生する(リピート再生)	27
お好みの順番で再生する(プログラム再生)	28
順不同で再生する(ランダム再生)	30

応用操作

トラック、インデックスを選択して再生する	31
字幕言語を選ぶ	32
音声言語を選ぶ	33
見たい方向からの映像を選ぶ(アングル)	34
ブックマーク機能を使う	35
画面の一部を拡大する(ズーム)	36
3Dサウンド音声で再生する	37

設定

初期設定メニューを変更する	38
言語を設定する	39
視聴制限を設定する(パレンタルロック)	41
(オーディオ設定)を設定する	42
画面を設定する(ビデオ設定)	43

ご参考

用語	45
故障かな?と思ったら	46
日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表	48
仕様	50
保証とアフターサービス(必ずご覧ください)	51

安全上のご注意

ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みになってから、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害が発生する可能性があります。

〈絵表示の例〉

- △記号は警告(注意)を促すことです。(この例は「感電注意」)
- ⊘記号は行為を禁止することです。(この例は「分解禁止」)
- 記号は行為を強制することです。(この例は「電源プラグをコンセントから抜く」)

警告	
不安定な場所に置かない	●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、 <u>けがの原因</u> となります。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない	●表示された交流100ボルト以外の電圧で使用すると、 <u>火災・感電の原因</u> となります。
水にぬらさない	●水場では本機を使用しないでください。 ●屋外や窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。 <u>火災・感電の原因</u> となります。 ●万一内部に水などがに入った場合は、使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると <u>火災・感電の原因</u> となります。
風呂場では使用しない	●風呂、シャワー室では使用しないでください。 <u>火災・感電の原因</u> となります。
水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない	●本機の上に、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。誤って本機の内部に入ると、 <u>火災・感電の原因</u> となります。

安全上のご注意(つづき)

警告	
電源コードを傷つけない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、電源コードが破損し、<u>火災・感電の原因</u>となります。 ● 電源コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重い物をのせて電源コードを傷つけることがあるのでご注意ください。<u>火災・感電の原因</u>となります。 
電源コードを加工しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。電源コードが破損し、<u>火災・感電の原因</u>となります。
電源コードが傷んだら交換する	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると<u>火災・感電の原因</u>となります。 
内部に異物を入れない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。<u>火災・感電の原因</u>となります。 ● 万一異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると<u>火災・感電の原因</u>となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。  <p style="text-align: center;">電源プラグをコンセントから抜く</p>
改造しない カバーを開けない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を改造すると<u>火災・感電の原因</u>となります。 ● 本機の裏ぶた、カバーは外さないでください。<u>感電の原因</u>となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。  <p style="text-align: center;">分解禁止</p>
異常なときは使わない	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一煙が出ている、へんな臭いがするなど異常状態のまま使用すると、<u>火災・感電の原因</u>となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。  <p style="text-align: center;">電源プラグをコンセントから抜く</p>
落としたり、キャビネットを破損しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると<u>火災・感電の原因</u>となります。  <p style="text-align: center;">電源プラグをコンセントから抜く</p>

警告	
雷が鳴るときは電源プラグには触れない	<ul style="list-style-type: none"> ● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。<u>感電の原因</u>となります。  <p style="text-align: center;">接触禁止</p>
防じんキャップに注意する	<ul style="list-style-type: none"> ● 光デジタル音声出力端子に取り付けてある防じんキャップを取り外した場合は、お子様が防じんキャップを誤って飲むことがないようにしてください。 ● 防じんキャップは幼児の手の届かない所へ保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 
注意	
油煙や湯気が当たる場所に置かない	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>火災・感電の原因</u>となる可能性があります。 
湿気やほこりの多い場所に置かない	<ul style="list-style-type: none"> ● 調理台や加湿器のそばに置かないでください。<u>火災・感電の原因</u>となる可能性があります。 
移動させるときは注意を！	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動させるときは、必ずディスクを取り出し、OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから電源プラグをコンセントから抜き、テレビなどとの接続線ははずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、<u>火災・感電の原因</u>となる可能性があります。  <p style="text-align: center;">電源プラグをコンセントから抜く</p>
直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かない	<ul style="list-style-type: none"> ● キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、<u>故障の原因</u>となる可能性があります。 
通風孔をふさがない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、<u>火災の原因</u>となる可能性があります。また、内部に熱がこもった状態で本機に触れると、<u>火傷の原因</u>となる可能性があります。本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。 
本機の上に乗らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 倒れたり、こわれたりして<u>けがの原因</u>となる可能性があります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 

安全上のご注意(つづき)

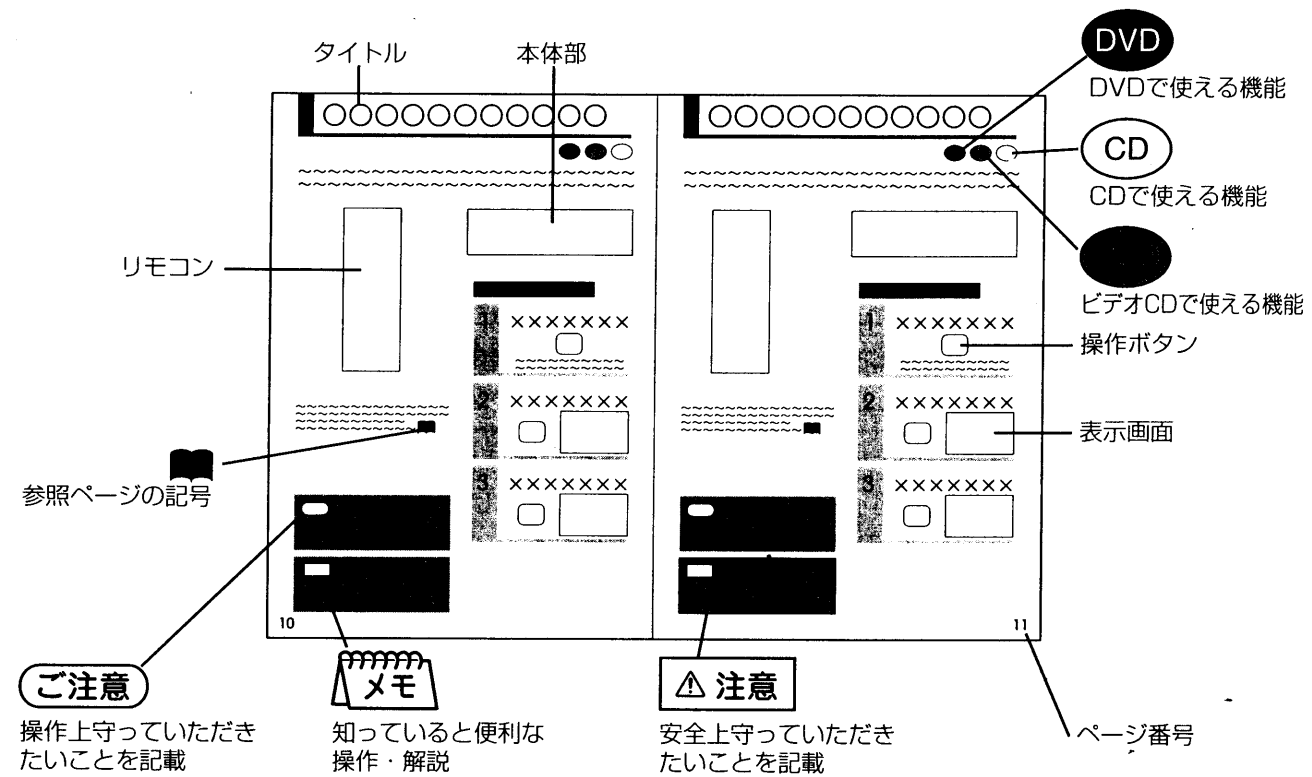
⚠ 注意		
本機の上に重い物を置かない	●本機の上に重い物やテレビなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	
電源コードを熱器具に近づけない	●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
電源プラグを持ってコンセントから抜く	●電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない	●感電する原因となることがあります。	 <small>ぬれ手禁止</small>
電源プラグのゴミやホコリにご注意!	●電源プラグにゴミやホコリが付着したまま使用すると発熱・火災の原因となります。電源プラグの刃やその周辺は、いつもきれいにしておいてください。	
お手入れするときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。	 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small>
機器で指定されていない乾電池は使わない	●指定されていない乾電池を使ったり、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。	
乾電池は機器の指示どおり正しく入れる	●極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください。まちがえすと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	
長時間ご使用にならないときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。	 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small>
内部の掃除について	●5年に1度くらいは、内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長いあいだ掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店にご相談ください。	

使用上のご注意

お手入れについて	<ul style="list-style-type: none"> ●化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。 ●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、軟らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。 ●キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。 ●キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。
本機の機能動作について	●誤動作および故障などにより、本機が正しく動作しないことがあります。これによる付随的損害(機会損失による補償など)は、当社は一切の責を負いませんので、あらかじめご容赦ください。
ガラスドア付きラックに入れたとき	●ガラスドアを開けたままリモコンの開/閉 ▲ ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。
再生中は本機を絶対に動かさない	●再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
熱を受けないようにする	●アンプなど、熱を発生する機器の上にはのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚(ホコリをかぶらない程度)に入れてください。
結露について	<ul style="list-style-type: none"> ●冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1~2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。 ●夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。
その他の注意	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。本機から離してご使用ください。 ●ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。 ●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。 ●テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。 ●静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源コードを1度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

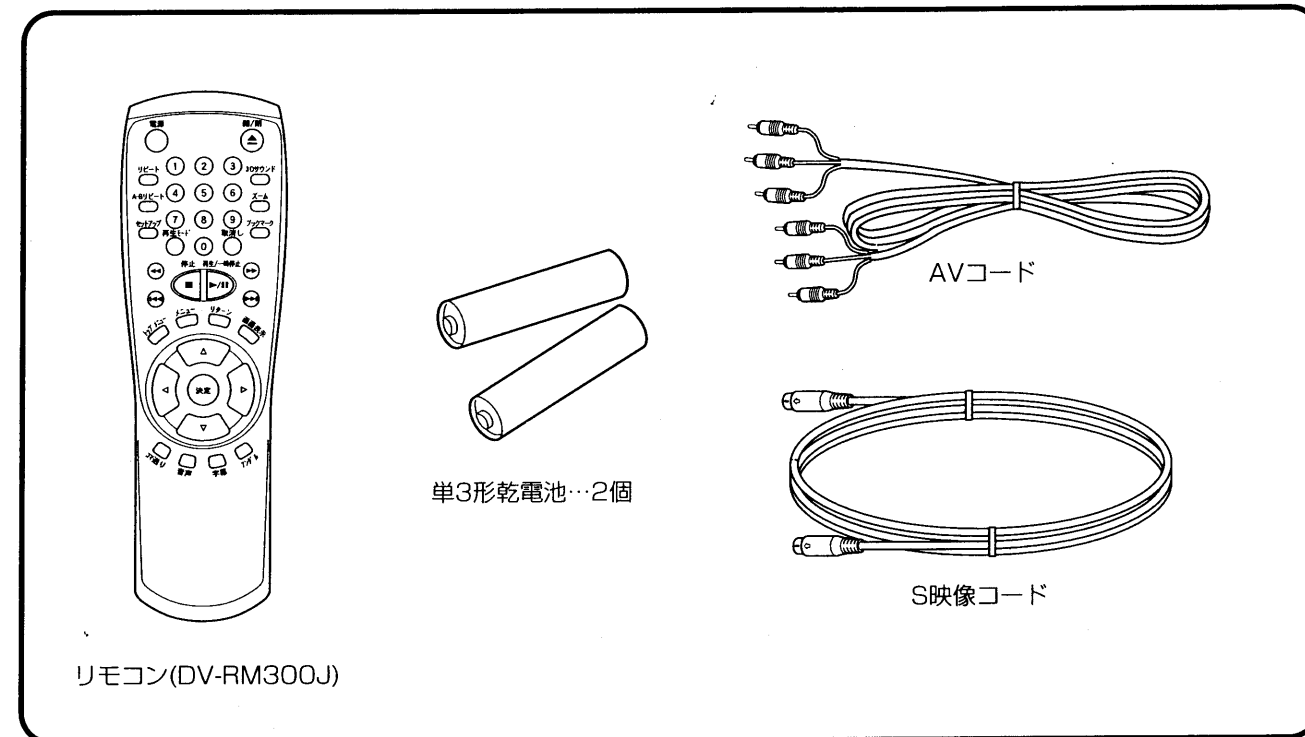
本書の見かた

この取扱説明書はほとんどが次のようになっています。よくお読みいただき、正しくお使いください（ページによって配置などが異なる場合もありますが、基本的には同じ説明方法です）。



付属品をご確認ください

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



お読み

特長

NTSC専用機 (PAL DISC再生/PAL出力非対応)

字幕言語対応 (2カ国語OSD) を採用

映画の臨場感が楽しめる3Dサラウンド機能を搭載

見たいところを拡大して見れるズーム機能

デジタルシアターシステム
DTS (Digital Theater System) の採用でよりよいサラウンド音声を実現

ご注意 DVD再生時の操作上の注意

●本機はDVDの規格に従ったディスクを再生することができますが、ディスクによってアングルや字幕が1種類しか入っていないものもあり、アングルや字幕の切り換えができないなど本書の記載通りに動作しないものもあります。本機はディスクの仕様をあらかじめご確認ください。

メモ

●DVDは12cmのディスクで、約133分の映像と高音質な音声を記録できる新しいメディアです。DVDでは従来よりも多くの映像や音声を収録することができ、多様な楽しみ方ができるように規格されています。例えば、見たいアングルに変えたり、字幕の言語を変えたり、音声の言語を変えたりすることもできます。

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。また、リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

「スペシャライザー」はデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドからの実施権に基づき製造されています。SPATIALIZERおよびシンボルマークはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドの登録商標です。

ディスクについて

本機はNTSC (日本のテレビ方式) に適合しています。下記以外のディスクは使用できません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	再生時間
DVD 	DVD	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 2 方式)
	12cm/片面	1層 約133分 4.7GB
	12cm/両面	2層 約242分 8.5GB
	12cm/両面	1層 約266分 9.4GB
	2層 約484分 17GB	
ビデオCD 	DVD	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 2 方式)
	8cm/片面	1層 約41分
	8cm/両面	2層 約75分
	8cm/両面	1層 約82分
	2層 約150分	
ビデオCD 	VIDEO CD 12cm/片面	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大74分
	VIDEO CD シングル 8cm/片面	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大20分
CD 	CD 12cm/片面	デジタル音声 最大74分
	CD シングル 8cm/片面	デジタル音声 最大20分

- 左表に表示されたマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
- 本機は左記の3種類のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
- 故障などを防ぐため、8cmアダプター (CD用) は使用しないでください。
- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因になります。
- DVDの再生時間は、平均記録レートが4.7Mbpsの場合です。

ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD (Ver.2.0) に対応しています。(PBCとは、Playback Controlの略です。) ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD (Ver.1.1)	音声用CDと同じように操作して、音声と映像 (動画) を再生できます。
PBC付きビデオCD (Ver.2.0)	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます (メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

ご注意

●リージョンコードが日本地域番号である「2」を含まないDVDは再生できません。

おまけ

ディスクの取り扱い

■次のマークのうち、いずれかのマークが付いたディスクをお使いください。



■保管

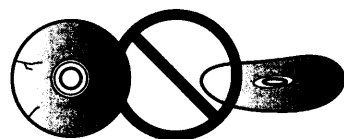
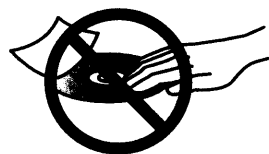
- ディスクはプラスチック製です。そらさないように注意してください。必ずケースに入れ、直射日光や高温多湿の場所、太陽のあたる屋外、車のシートの上なども予想以上に高温となりますので置かないでください。
- ディスクに付いている注意事項は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音質や画質が低下することがあります。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、そのあと乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ディスクにセロハンテープやレンタルのラベルなどのノリがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。



柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く



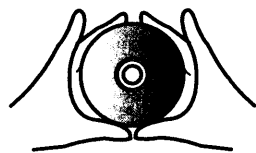
■レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは、保証とアフターサービス 52 をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

■ディスクの持ちかた

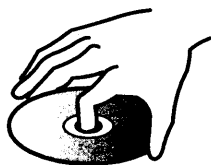
両手で持つ場合

ディスクの両端をはさんで持つ。



片手で持つ場合

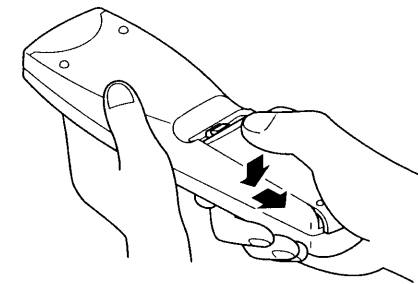
中央の穴と外周部に指をかけて持つ。



リモコンの取り扱い

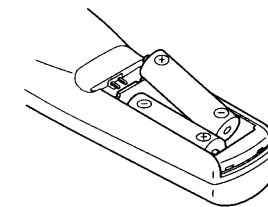
乾電池の入れかた

1 つまみを押しながら、ふたを開ける

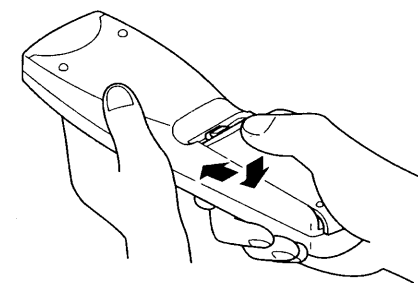


2 乾電池(単3形)を入れる

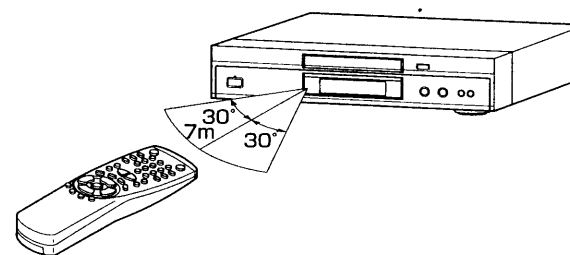
付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。



3 ふたを閉じる



リモコンの取り扱い



- リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約7メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。

【ご注意】リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると、動作しにくくなる場合があります。光が直接当たらないようにご注意ください。

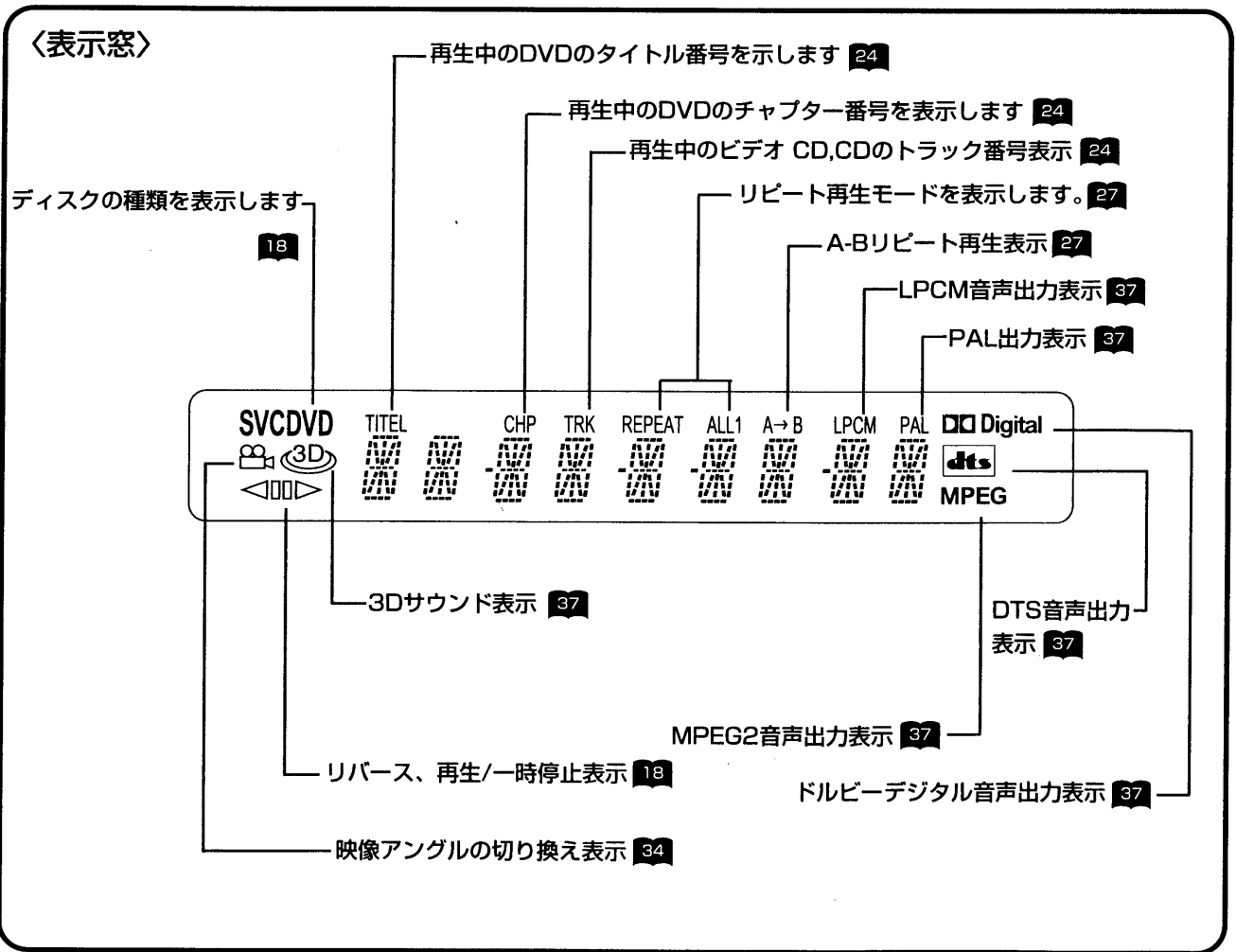
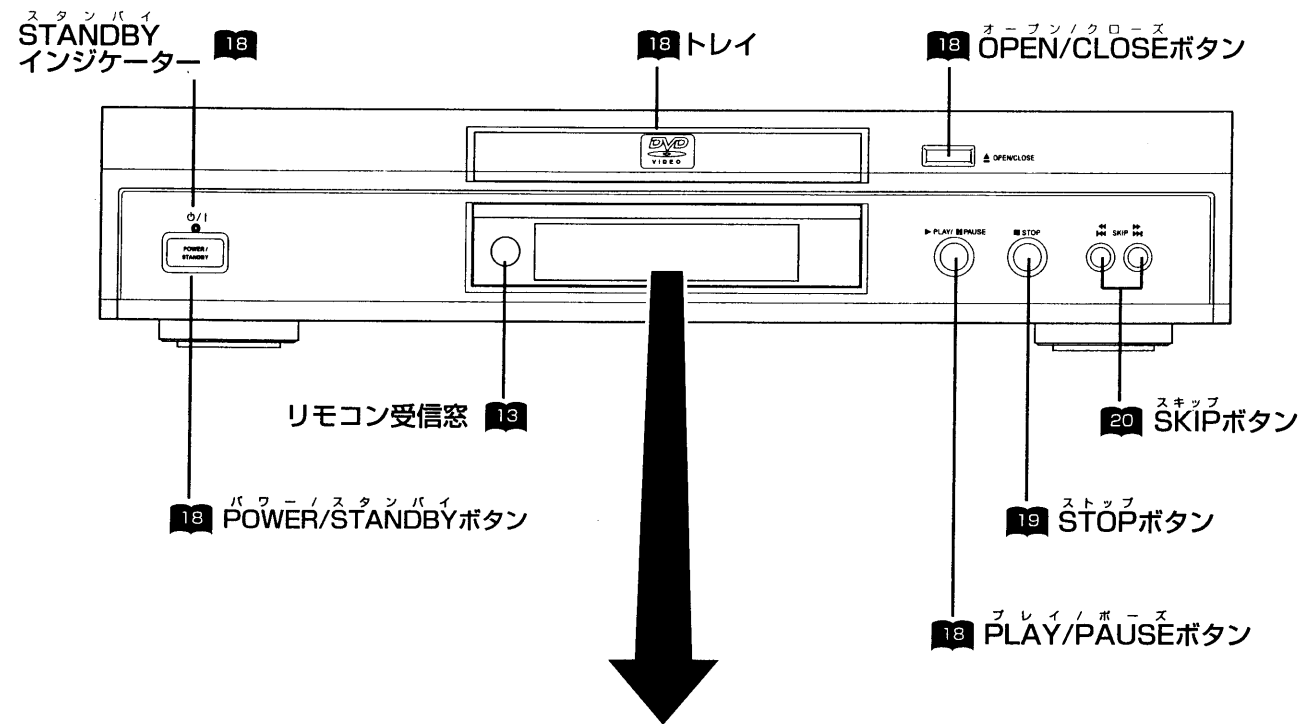
【注意】乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 乾電池を機器内に挿入する場合は、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと乾電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

準備

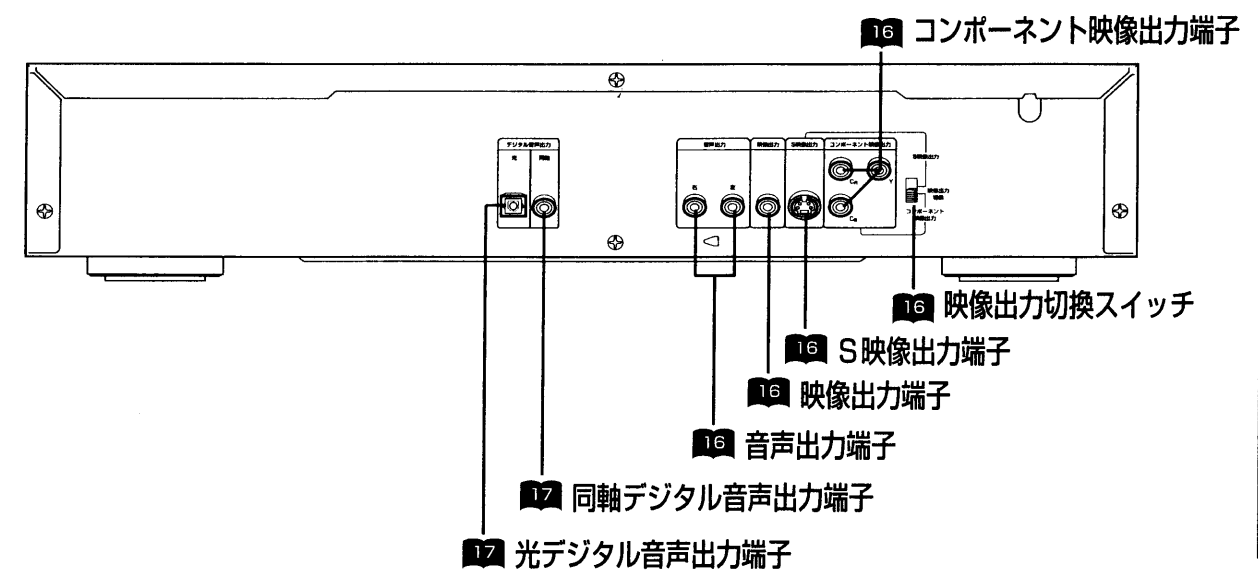
各部の名称

前面

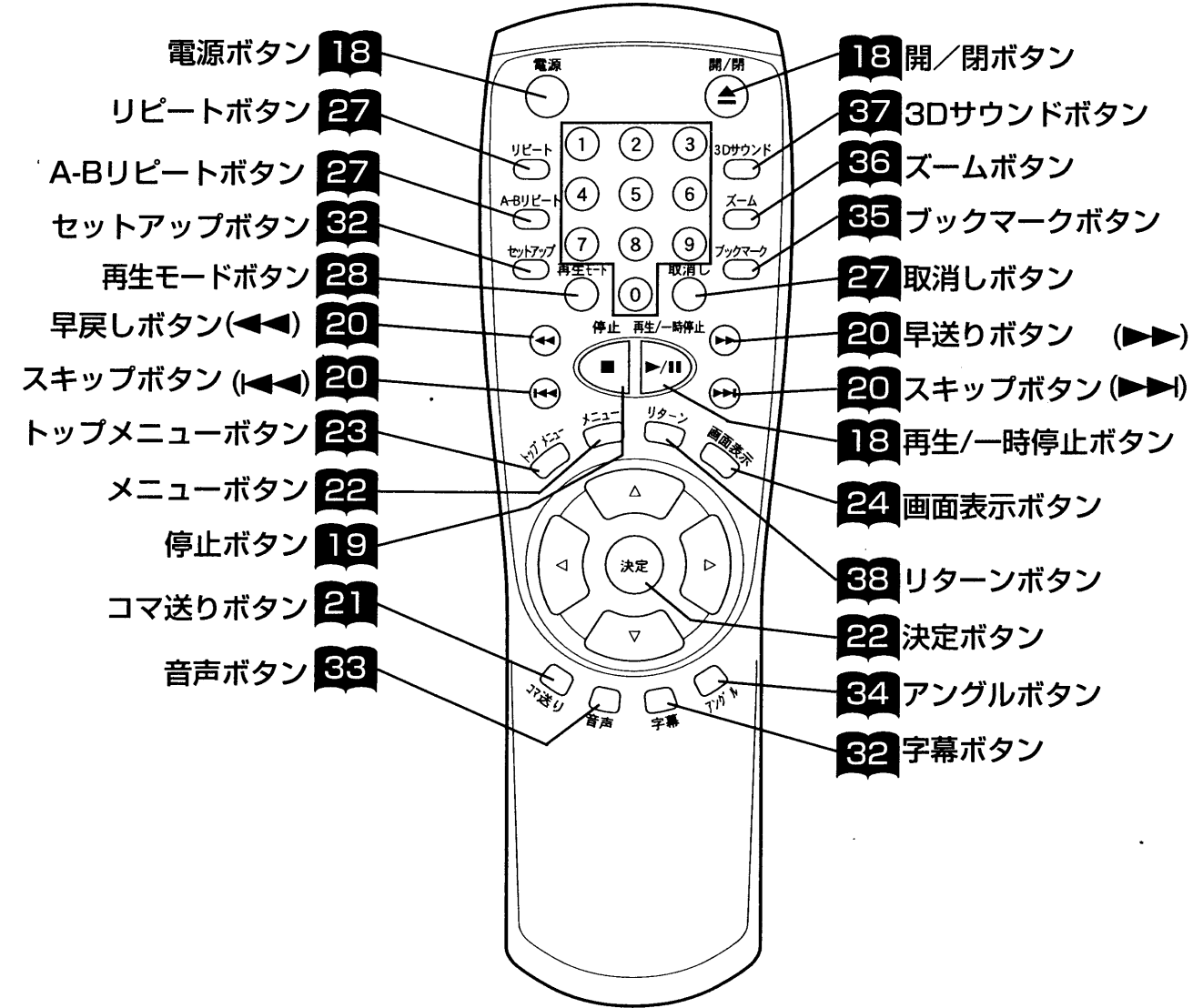


各部の名称(つづき)

背面



リモコン



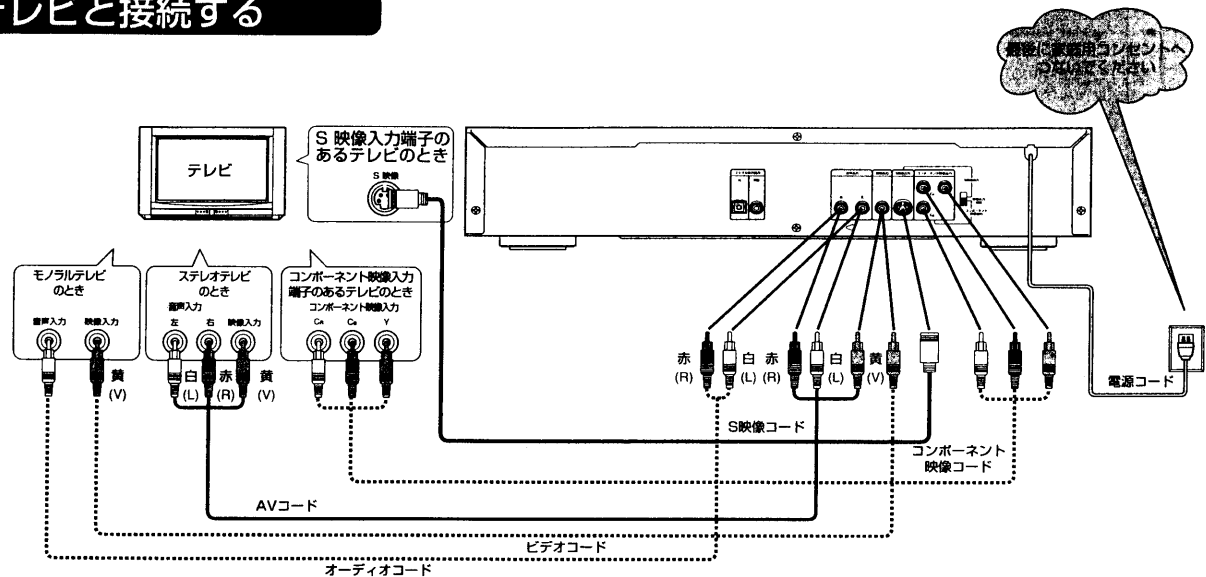
準備

他の機器と接続する

ご注意

- 他の機器は組み合わせで使用になるときは、それぞれの取扱説明書をよくお読みになしてください。
- 接続するときは、各機器の電源を切ってから行ってください。

テレビと接続する



実線は付属のコードです
点線は市販のコードをご利用ください。

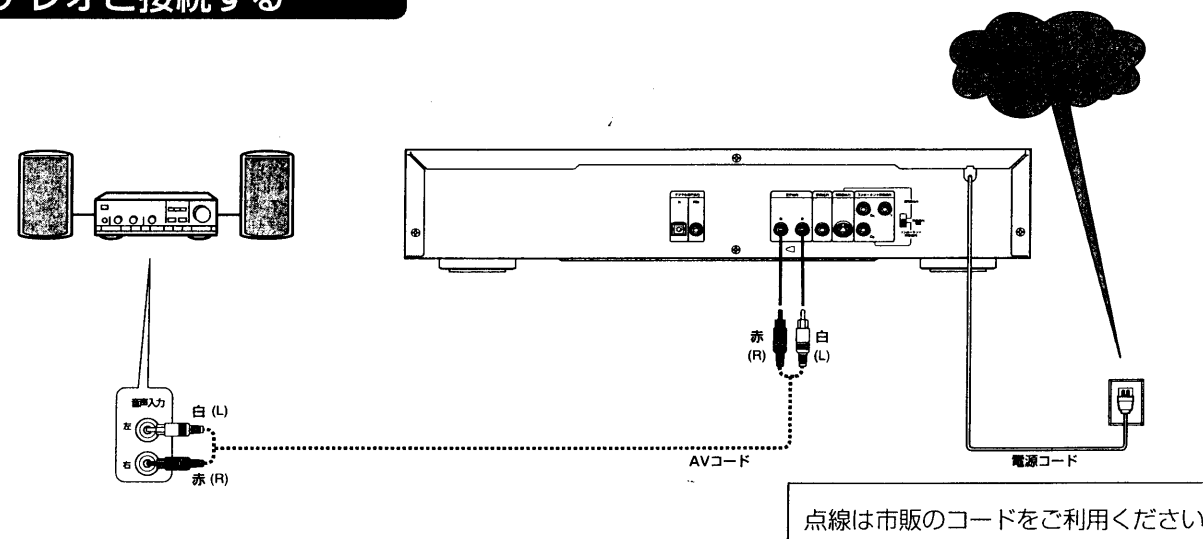
- 本機のS映像出力は、ワイドテレビのワイドモードを自動的に切り換えるS2規格に対応しています。⁴³
- ワイドテレビに接続する場合は、セットアップ画面でTV出力設定をワイドTVに設定してください。

ご注意

- 映像出力の切り替えを行うには、必ず電源「オフ」の状態でご確認ください。
- 電源「オン」の状態では映像出力の切り替えスイッチを切替えても、正しく動作しません。
- テレビに接続する場合は、S映像出力とコンポーネント映像出力を同時に使用することはできません。

他の機器と接続する(つづき)

ステレオと接続する



点線は市販のコードをご利用ください。

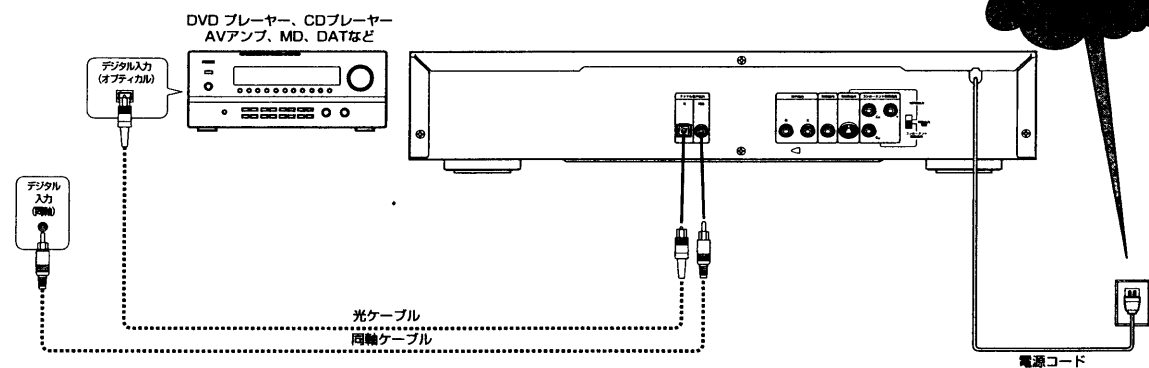
■ドルビープロロジック・デコーダー(内蔵アンプ)と接続する

ステレオがドルビープロロジック対応の場合も同じように接続します。ドルビープロロジック・サラウンドを楽しむには、ステレオの取扱説明書に従ってドルビープロロジック・サラウンドが聞けるように設定してください。



- 48kHz、16bitなどの高品位オーディオが記録されているDVDを再生する場合は、デジタル出力の設定をLPCMにすることを推奨します。⁴²

デジタル端子付き機器と接続する



点線は市販のコードをご利用ください。

- ドルビーデジタル入力端子のあるアンプと接続することによって、ドルビーデジタルサラウンドでお楽しみいただけます。

ご注意

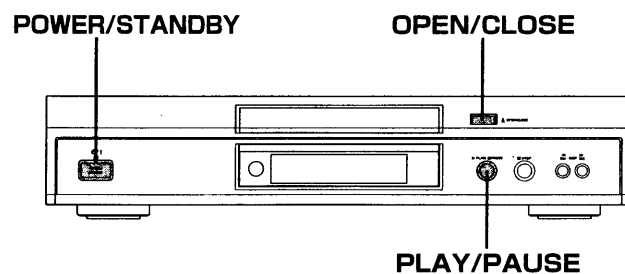
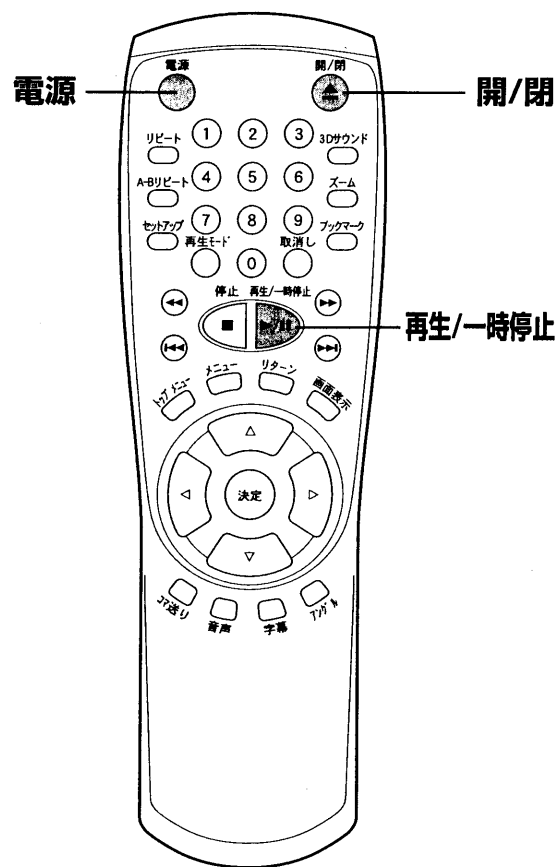
- ドルビーデジタル(AQ-3)のDVDをデジタル接続で再生する場合は、再生設定をデジタル出力に設定してください。デジタル出力で再生しない場合は、再生設定をLPCMにしてください。ドルビーデジタル(AQ-3)で録音しようとすると、ノイズを録音してしまいます。
- CDをデジタル接続でMDやDATに録音する場合、曲の番号が正しく記録されないことがあります。録音後にMDやDATで曲の番号を編集してください。
- デジタル接続でMDやDATに録音すると曲の先頭に入っている信号が正しく記録されないことがあります。
- DTS 信号は本機のデジタル出力端子(同軸デジタル/光デジタル)からのみ出力します。

「DTS」および「DTS DIGITAL OUT」は米国デジタルシアターシステムズ社の商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」、「Pro Logic」、ダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

準備

電源プラグをコンセントに差し込むとSTANDBYインジケータが赤く点灯します。



1 電源ボタンを押す



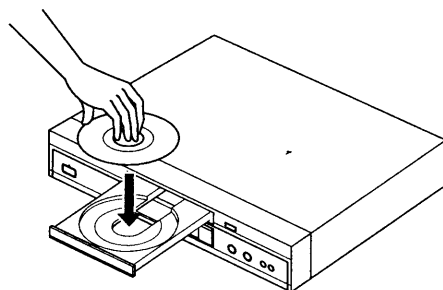
- 本体ではPOWER/STANDBYボタンを押します。
- STANDBYインジケータが消灯します。

2 開/閉ボタンを押す



- トレイが出てきます。

3 ディスクを置く

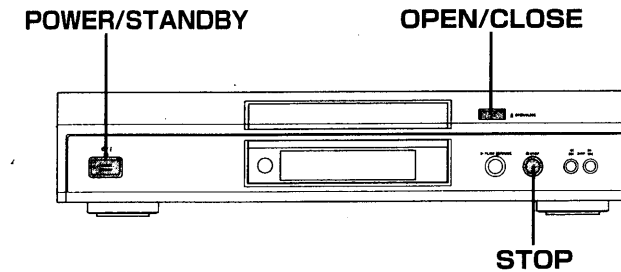
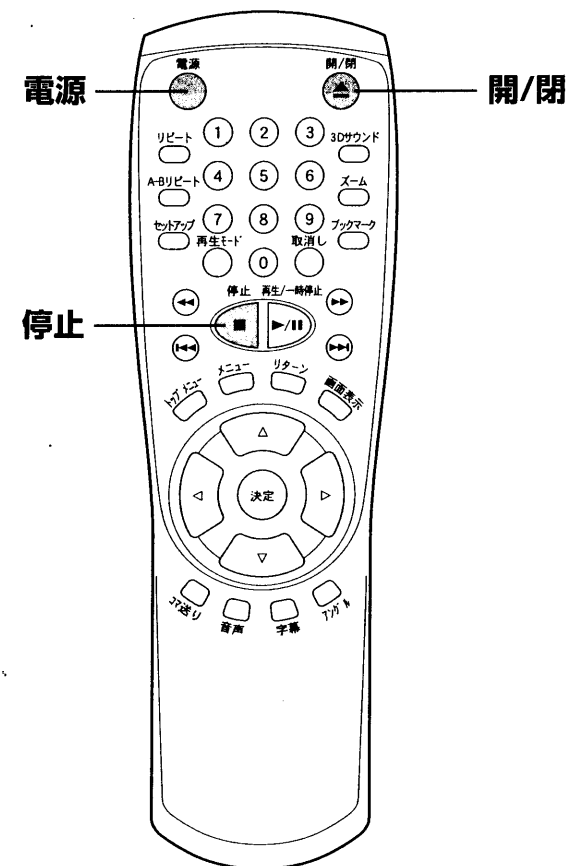


- レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。

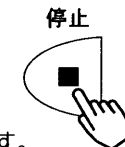
4 再生/一時停止ボタンを押す



- 本体では▶PLAY/||PAUSEボタンを押します。
- 自動的にトレイが閉まり、ディスクの種類が確認されると再生が始まります。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。☒



1 停止ボタンを押す



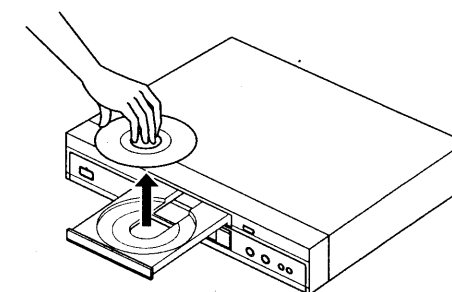
- 再生を終了します。

2 開/閉ボタンを押す



- トレイが出てきます。

3 ディスクを取り出す



4 電源ボタンを押す

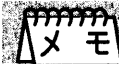


- 本体ではPOWER/STANDBYボタンを押します。
- トレイが閉まり、電源が切れます。STANDBYインジケータが点灯します。

■再生を一時停止する

再生/一時停止ボタンを押すと、再生を一時停止します。もう一度再生/一時停止ボタンを押すと一時停止したところから再生が始まります。

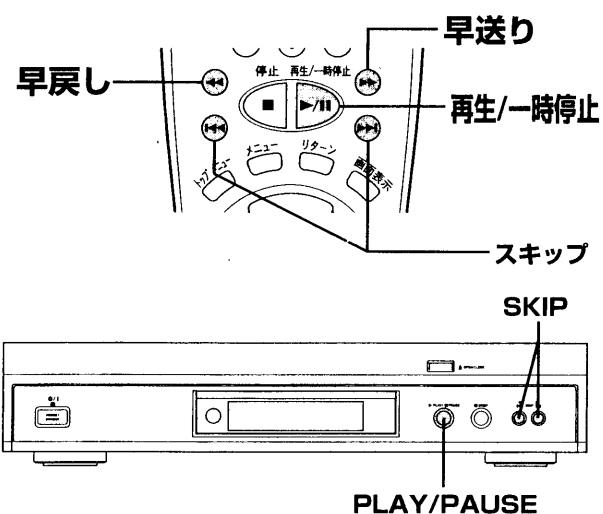
- DVD、ビデオCDでは、静止画になります。



- 停止状態が約30分間つづくと、自動的に電源が切れてスタンバイ状態になります。

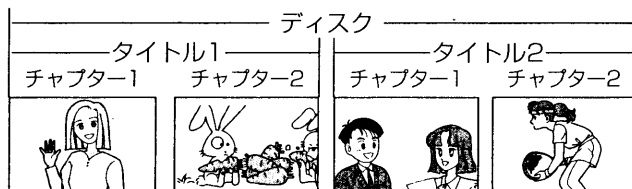


ディスクを再生中に次のチャプター/トラックへ進ませたり、前のチャプター/トラックへ戻したりすることができます。

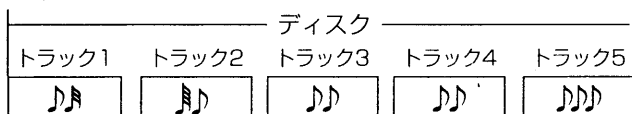


■タイトル/チャプター/トラックについて
DVDでは、ディスクの内容をタイトルで分け、さらにタイトルの中をチャプターで分けています。ビデオCD、CDでは、ディスクの内容をトラックで分けています。

DVD



ビデオCD、CD



ご注意

- DVDの場合、これらの操作は、タイトル間をまたいで行うことはできません。
- ビデオCDの場合、PBC(プレイバックコントロール)がオフのときに、スキップボタンでトラックを進めたり戻したりすることができます。PBCがオンのときは、PBCに従った操作をします。

次のチャプター/トラックへ進める

スキップ▶▶Iボタンを押す



- ボタンを押すごとに次のチャプター/トラックに進みます。
- 本体ではボタンを押しつづけると、早送り(X2)になり、再度ボタンを押しつづける毎に(X4, X8, X16, X32)になります。VCD、CDの場合は(X2, X4, X8)になります。

前のチャプター/トラックへ戻す

スキップI◀◀ボタンを押す



- 1度押すと再生しているチャプター/トラックの初めに戻ります。さらに押すと前のチャプター/トラックに戻ります。
- 本体ではボタンを押しつづけると、早戻し(X2)になり、再度ボタンを押しつづける毎に(X4, X8, X16, X32)になります。VCD、CDの場合は(X2, X4, X8)になります。

早送りをする

早送り▶▶ボタンを押す



- 見たい場面で▶▶ボタンを押すと早送り再生します。
- ボタンを押す毎に(X2, X4, X8, X16, X32)になり、VCD、CDの場合(X2, X4, X8)になります。

早戻しをする

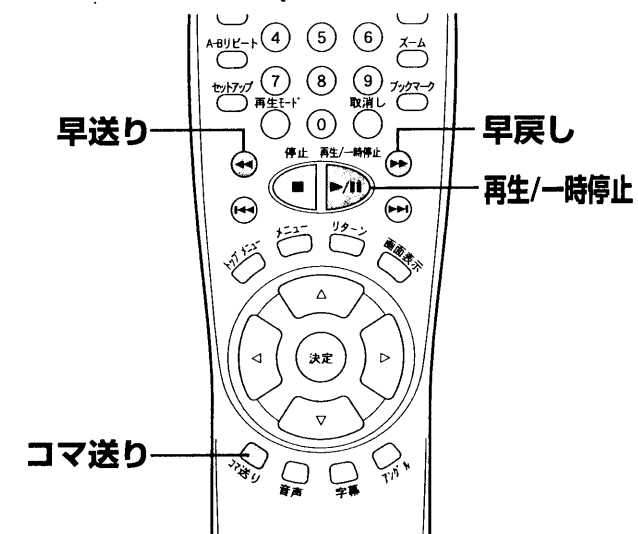
早戻しI◀◀ボタンを押す



- 見たい場面でI◀◀ボタンを押すと、早戻し再生します。
- ボタンを押す毎に(X2, X4, X8, X16, X32)になり、VCD、CDの場合(X2, X4, X8)になります。



ディスクを再生中に映像を止めて見たり(静止画)、1コマずつ見たり(コマ送り)することができます。



コマ送りボタンを押すごとに1コマずつ進みます。



- 静止画再生中は、音声が聞こえません。
- ディスクによっては、一時停止ができないものがあります。その場合は、マークが画面に表示されます。
- スクリーンセーバーをオンに設定してあるときに静止画再生のままにしておくと、スクリーンセーバーの画面に変わります。いずれかの操作ボタンを押すと静止画に戻ります。
- DVDの静止画再生中に画面が揺れることがあります。この場合、セットアップ画面の一時停止画像の設定をフリッカーレスにしてください。

ご注意

- DVDの場合、前のチャプターへのコマ戻しはできません。
- コマ送りのコマの間隔は、ばらつくことがあります。

静止画再生(映像を止めて見る)

再生/一時停止ボタンを押す



- 表示窓にIIが点滅され、静止画になります。
- 本体では▶PLAY/II PAUSEボタンを押します。
- コマ送りボタンでも静止画になります。

コマ送り再生(映像を1コマずつ見る)

静止画の状態からコマ送りボタンを押す



- コマ送りボタンを押すごとに1コマずつ進みます。

普通の再生に戻す

再生/一時停止ボタンを押す



- 再び再生を始めます。

スローモーション再生

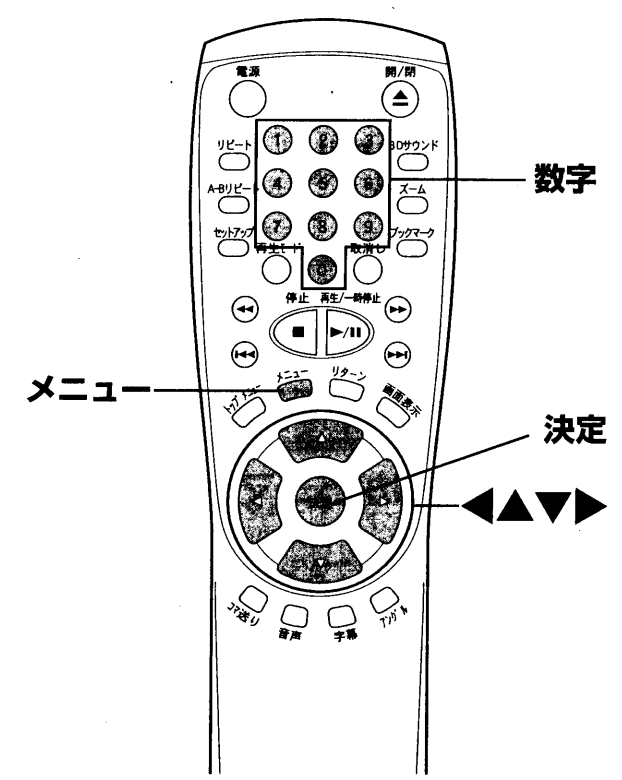
再生/一時停止ボタンまたはコマ送りボタンを押す



- 早送り▶▶ボタンを押すたびに1/2、1/4、1/8のスピードで進みます。
- 早戻しI◀◀ボタンを押すたびに1/8、1/4、1/2のスピードで戻ります。

ディスクのメニュー画面から再生する DVD

DVD、ビデオCDでは、ディスクによってメニュー画面が記録されているものがあります。メニュー画面から再生したい項目、表示したい字幕言語、聞きたい音声言語などが選べます。



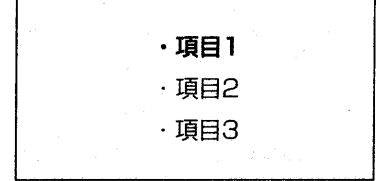
DVDのとき

1 メニューボタンを押す



- メニュー画面が表示されます。
- 自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。
- メニュー画面はディスクによって異なります。

2 ◀▶▶▶ ボタンで項目を選ぶ

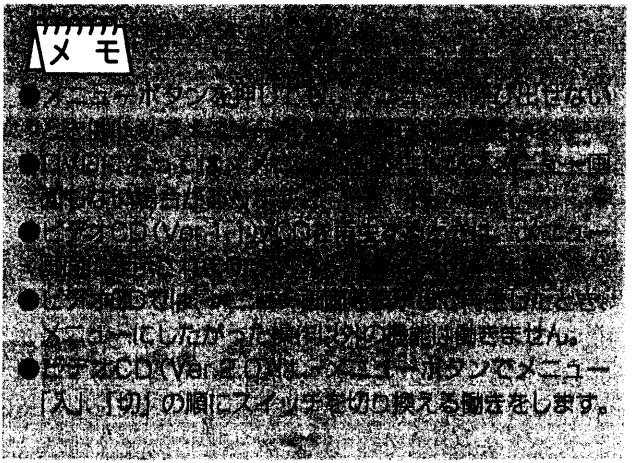


- DVDによっては、リモコンの数字ボタンで項目を選べるものもあります。

決定ボタンを押す



- 項目が決定します。

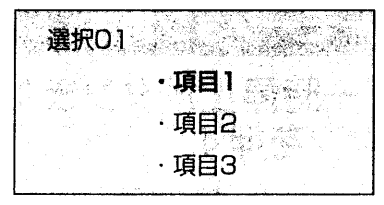


ビデオCD (Ver.2.0) のとき

1 ビデオCD (Ver.2.0) を再生する

- メニュー画面が表示されます。

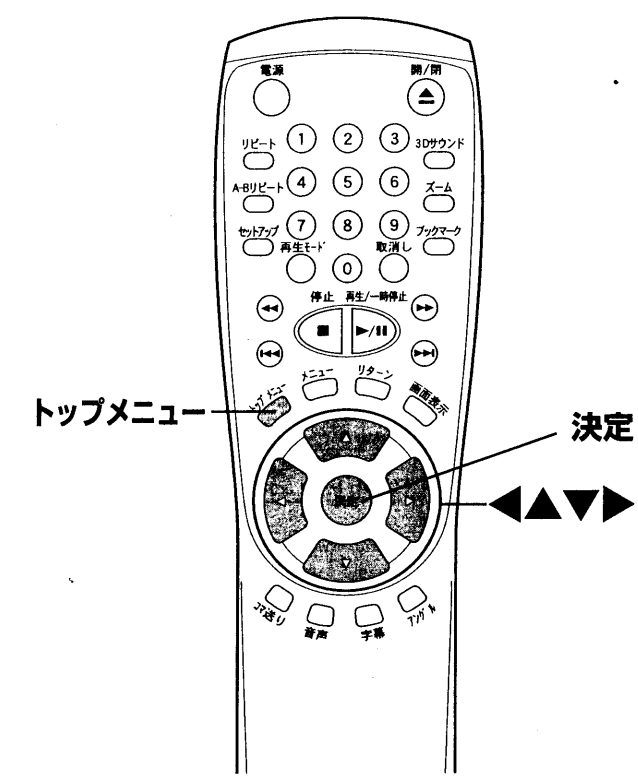
2 数字ボタンで項目を選ぶ



- 数字ボタンを押すと、画面に「選択01」が表示され、項目が決定します。
- 数字ボタンを押しても「選択01」が表示されないうち決定ボタンを押してください。
- ビデオCDによっては、再生 ▶ ボタン、スキップ ▶▶/▶▶▶、◀◀/◀◀◀ ボタン、リターンボタンで操作できるものもあります。リターンボタンの操作をマークで表示するビデオCDもあります。
- 再生中にメニュー画面に戻るにはリターンボタンを押します。
- ビデオCDによっては、3桁の数字を入力することがあります。この場合は、数字を1桁入力するごとに決定ボタンを押してください。

トップメニュー画面から再生する DVD

DVDには、複数のタイトルを記録し、トップメニューを備えたディスクがあります。この場合は、トップメニュー画面から再生すると便利です。

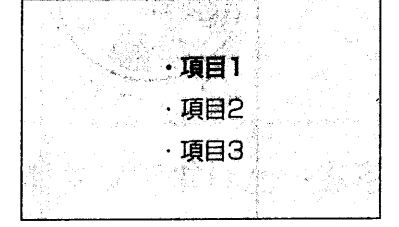


1 トップメニューボタンを押す



- トップメニュー画面が表示されます。
- トップメニュー画面はディスクによって異なります。

◀▶▶▶ ボタンで項目を選ぶ



- DVDによっては、数字ボタンで選べるものがあります。

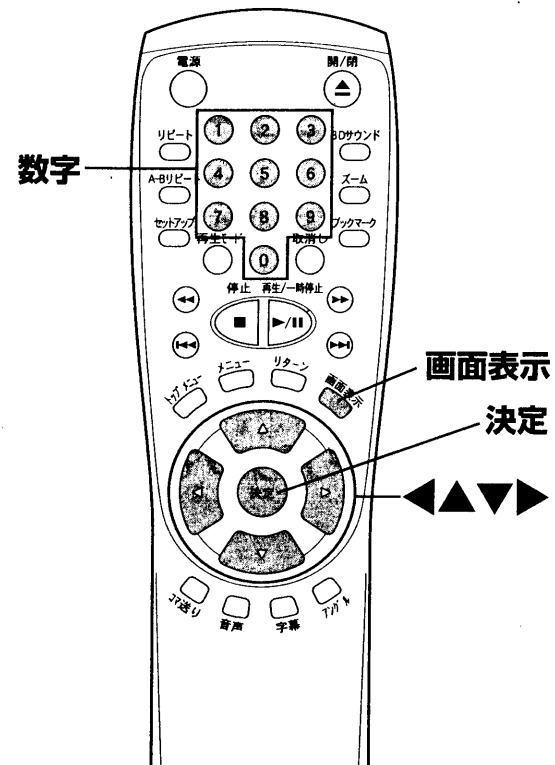
決定ボタンを押す



- 項目が決定します。
- 以下メニューにしたがって操作します。



基本操作



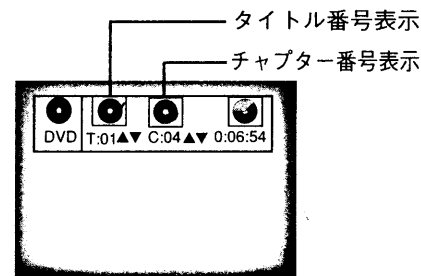
1 画面表示ボタンを押す



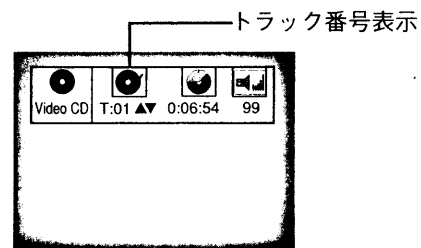
●モード表示画面が表示されます。

2 ◀▶ ボタンでタイトル/チャプター/トラックを選択する

DVDの場合



ビデオCD、CDの場合

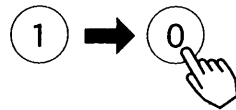


●タイトル番号やトラック番号は、記録している総タイトル数、総トラック数です。

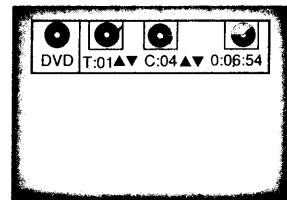
例1. タイトルの3を選ぶとき



例2. タイトルの10を選ぶとき



DVDの場合



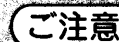
3 決定ボタンを押す



- 指定したタイトル/チャプター/トラックの画面から再生します。
- 再生▶ボタンでも再生が始まります。
- 取り消したいときは、取消しボタンを押します。



●DVDを再生中にタイトルを指定しないでチャプターを指定すると、現在再生中のタイトルのチャプターの意味になります。タイトルだけを指定すると、そのタイトルの始まりを探します。



●DVDで停止中のチャプターを指定する場合は、必ずタイトル番号も指定してください。

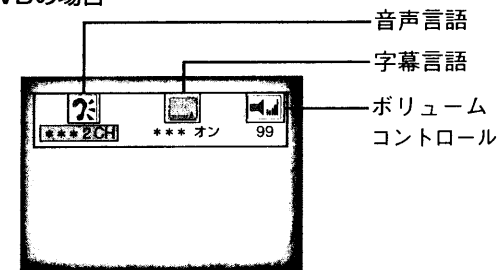
1 画面表示ボタンを2回押す



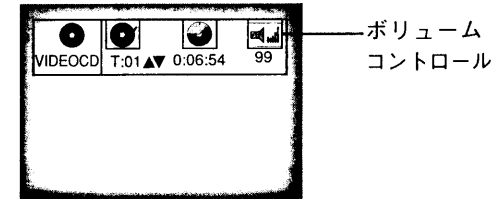
●モード表示画面が表示されます。

2 ◀▶ ボタンで音声言語/字幕言語/ボリュームコントロールを選ぶ

DVDの場合

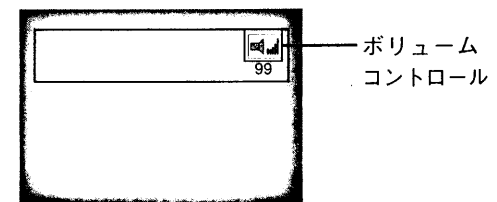


ビデオCD/CDの場合



●もう一度、画面表示ボタンを押すとモード表示画面が消えます。

3 ◀▶ ボタンでボリュームコントロールに合わせ、▲▼ ボタンでボリュームを調節する



●DVD/ビデオCD/CDのボリュームコントロールを設定するときは、(00~99)までのボリュームを設定することができます。

4 決定ボタンを押す



- 指定した音声言語/字幕言語/ボリュームコントロールの画面から再生します。
- 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。
- 取り消したいときは、取消しボタンを押します。

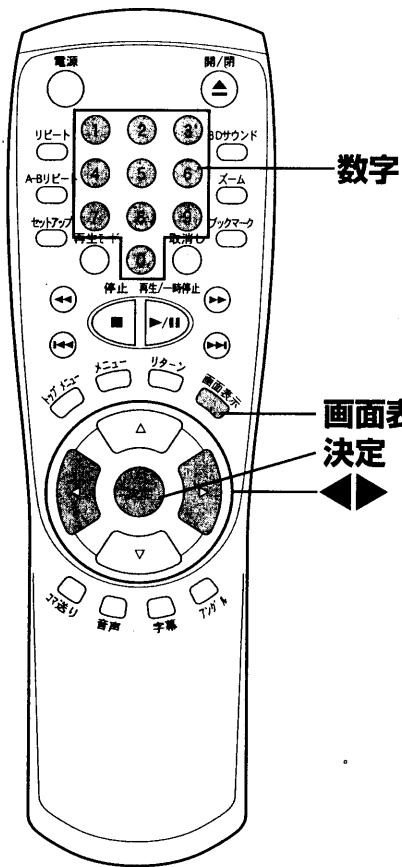
マスターボリュームコントロール機能について

1 画面表示ボタンを2回押す



2 ▲▼ ボタンでボリュームを調節する

- マスターボリュームコントロール機能は、本機の音声出力からの音量を調節します。他の機器と接続して適切な音量に調節する場合に役立ちます。
- DTSを含むCDのボリューム：96以下では、マスターボリュームコントロール機能は動きません。
- 初期設定の「デジタル出力」が「ビットストリーム」に設定されていると、マスターボリュームコントロール機能は動きません。



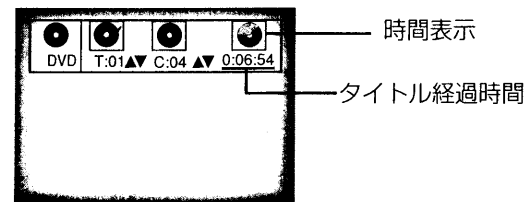
1 画面表示ボタンを押す



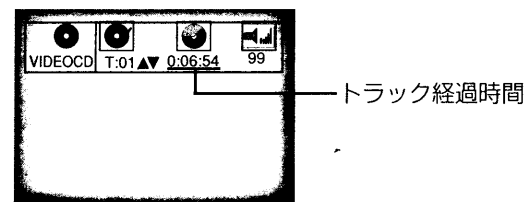
- モード表示画面が表示されます。
- タイトル/トラック番号を入力する。

2 ◀▶ ボタンで時間表示を選ぶ

DVDの場合



ビデオCD、CD場合



3 数字ボタンで時間を設定する

例. 1 : 23 : 45を選ぶとき

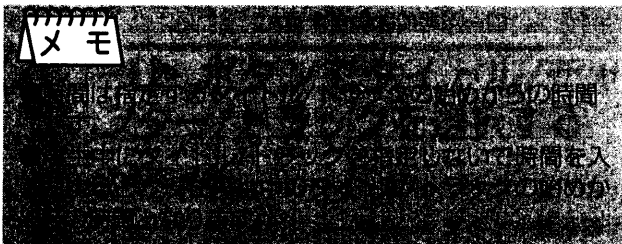
① → ② → ③ → ④ → ⑤

- 数字ボタンを押すごとに、次のように表示されます。
- 0 : 00 : 01
0 : 00 : 12
:
1 : 23 : 45

4 決定ボタンを押す



- 指定したタイトル/トラックの指定した時間の画面から再生します。
- 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。
- 取り消したいときは、取消しボタンを押します。



ご注意
●DVDで再生中に画面表示する場合は必ずタイトル番号を指定してください。
●ビデオCD/CDで再生中に画面表示する場合は、必ずトラック番号を指定してください。



再生中のディスク、タイトル、チャプター、トラックを繰り返して再生することができます。また、指定した箇所を繰り返して再生することもできます。

ディスク、タイトル、チャプター、トラックをリピート再生する

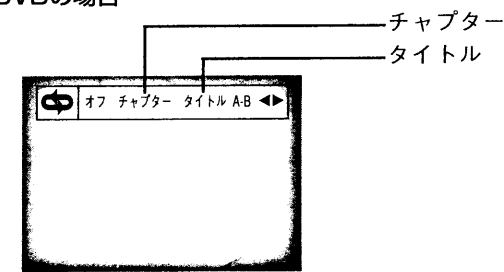
1 リピートボタンを押す



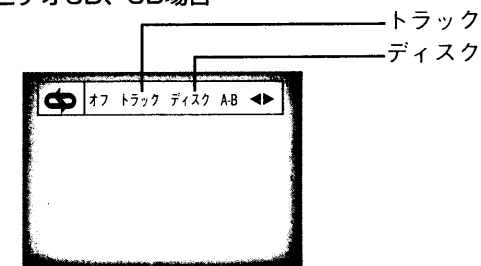
- リピート画面が表示されます。

2 ◀▶ ボタンでディスク/タイトル/チャプター/トラックを選ぶ

DVDの場合



ビデオCD、CD場合



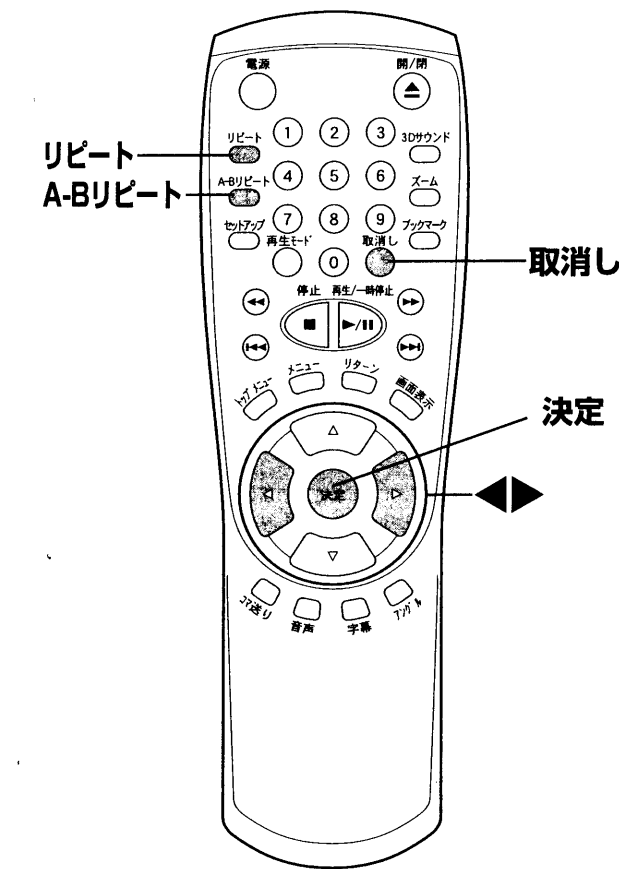
3 決定ボタンを押す



- リピートボタンをもう一度押すと再生に戻り、◀▶ ボタンを選ばないで決定ボタンを押しても再生に戻ります。

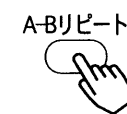


- DVDはチャプター/タイトルをリピート再生を行いビデオCD/CDはディスク/トラックでリピート再生を行います。
- ディスクによっては、リピート機能ができないものがあります。
- ビデオCD (Ver.2.0) で再生するとき、メニュー「オン」で設定されている場合は、リピート再生できません。



指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい始めと終わりで A-Bリピートボタンを押す



- A-Bリピートボタンをもう一度押すと再生に戻ります。

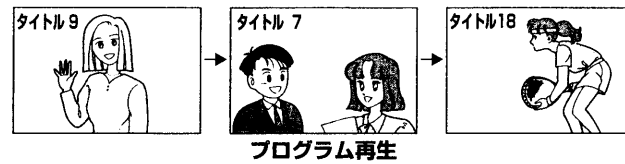
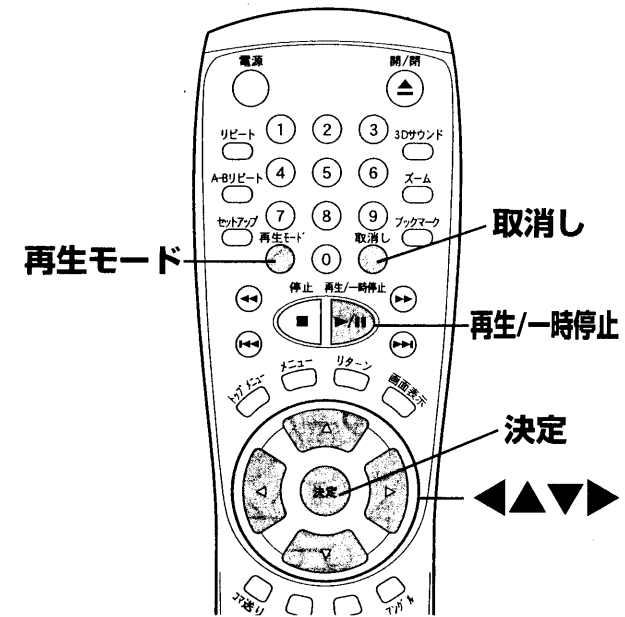
リピート再生を止める

取消しボタンを押す



- リピート再生を終了し、再生はそのままつづきます。
- A-Bリピートボタンでも、取り消すことができます。

お好みの順番で再生することができます。プログラムする内容はディスクによって異なります(DVDではタイトルとチャプター、ビデオCD、CDではトラック)。



メモ

- ディスクによってはプログラム再生できないものがあります。
- ビデオCDやDVD-VIDEOでは、メニュー画面の「オン」表示が有効なプログラム再生できません。
- 取り消しボタンを押すと、再び再生に戻ります。

プログラムを設定する

1 再生モードボタンを押す



●「ランダム」の選択画面が表示されます。

2 ◀▶ ボタンで「プログラム」を選び、決定ボタンを押す



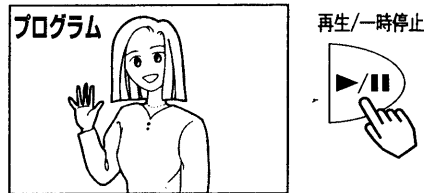
●プログラム画面が表示されます。

3 ◀▶▶ ボタンでお好みのチャプター(タイトル番号)を選び、決定ボタンを押す

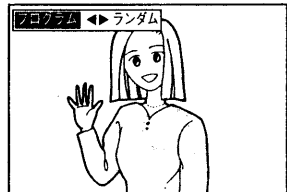
チャプター(T:01)	再生順序
01 02 03 04	01 03 05 07
05 06 07 08	09 10 11 12
09 10 11 12	14 16
13 14 15 16▶	

- 選ばれたチャプター番号は、再生順序に表示されます。
- この操作を行うごとに、ひとつずつ再生順序に登録されます。
- ビデオCD、CDのときは、トラックを選びます。

4 再生/一時停止ボタンを押す



- プログラム再生が始まります。
- DVDを再生中に再生モードボタンを押した場合でも「プログラム/ランダム」モードの「プログラム」を◀▶ボタンで選び、決定ボタンを押すことができます。



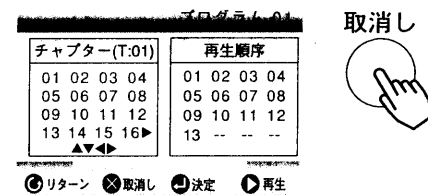
プログラムを消す

1 再生モードボタンを押す



●プログラム画面が表示されます。

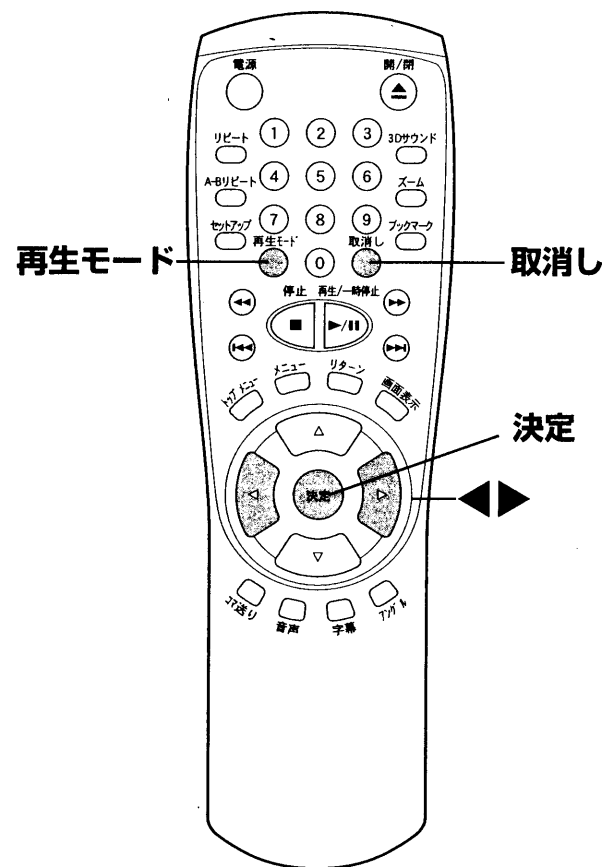
2 取消しボタンを押す



●再生順序から取り消したいプログラム番号を下から順にひとつずつ取り消されます。

順不同で再生する(ランダム再生)

ディスクのタイトル、チャプター、トラックを本機が順不同に並べ変えて再生します。すべての再生が終わると停止します。



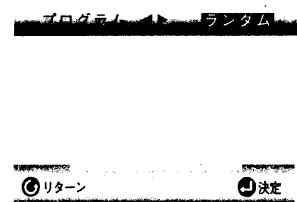
ランダム再生する

1 停止中に再生モードボタンを押す

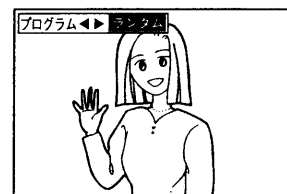


●「プログラム」「ランダム」の選択画面が表示されます。

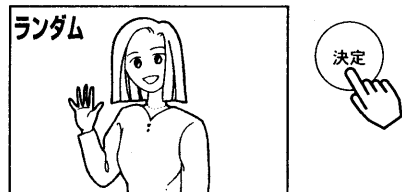
2 ◀▶ ボタンで「ランダム」を選ぶ



●DVDを再生中に再生モードボタンを押した場合でも「プログラム/ランダム」の「ランダム」を◀▶ボタンで選び、決定ボタンを押すことができます。



3 決定ボタンを押す



●本体では、表示窓にRANDOM が表示され、ランダム再生を始めます。

ランダム再生を止める

キャンセルボタンを押す



●本体では、表示窓にRANDOM OFFが表示され、ランダム再生を止めます。

ランダム再生中に

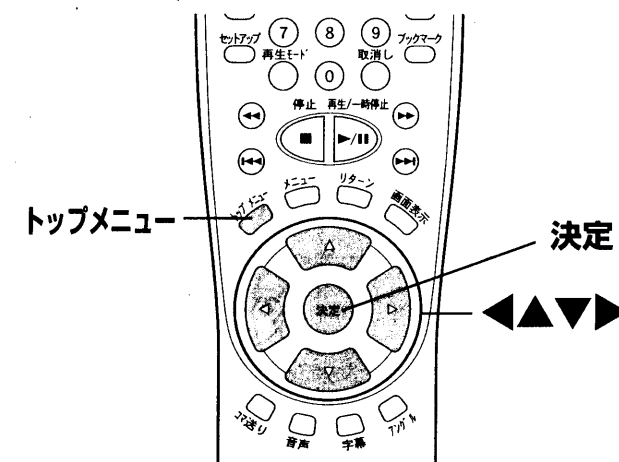
- SKIP▶▶ ボタンを押すと、次にプレーヤーが選ぶチャプター/トラックが再生されます。
- SKIP◀◀ ボタンを押すと、ひとつ前に再生したチャプター/トラックに戻ります。

メモ

- ディスクによっては、ランダム再生ができないものがあります。
- ビデオCD (Ver.2.0) では、メニュー画面を「オン」に設定した場合は、ランダム再生できません。
- キャンセルボタンを押すと、再び再生に戻ります。

トラック、インデックスを選択して再生する

お好みの音楽やビデオトラックをメニューボタンを使わずに直接選ぶことができます (VCD) のみ。



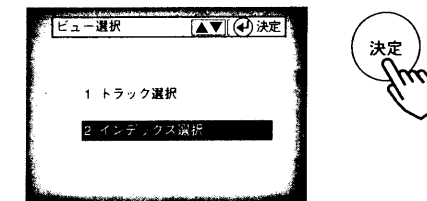
インデックス選択の場合

1 再生中にトップメニューボタンを押す



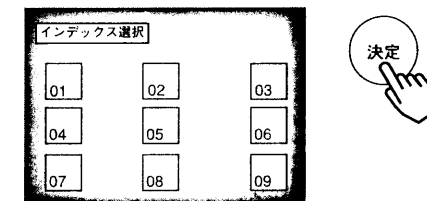
●ディスクの選択画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで「インデックス選択」を選び、決定ボタンを押す



●インデックス選択画面が表示されます。

3 ◀▶▶ ボタンでお好みのインデックス選択画面を選び、決定ボタンを押す



●ビデオCDに収録されているトラックの中のインデックス画面が表示されます。

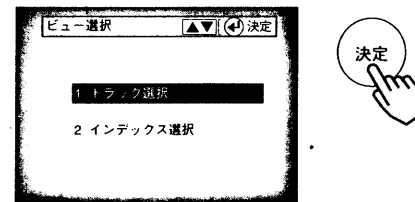
トラック選択の場合

1 再生中にトップメニューボタンを押す



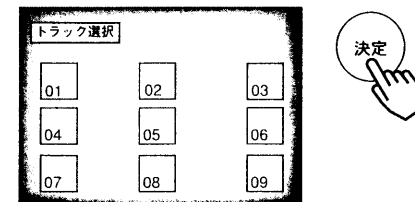
●ディスクの選択画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで「トラック選択」を選び、決定ボタンを押す



●トラック選択画面が表示されます。

3 ◀▶▶ ボタンでお好みのトラック選択画面を選び、決定ボタンを押す



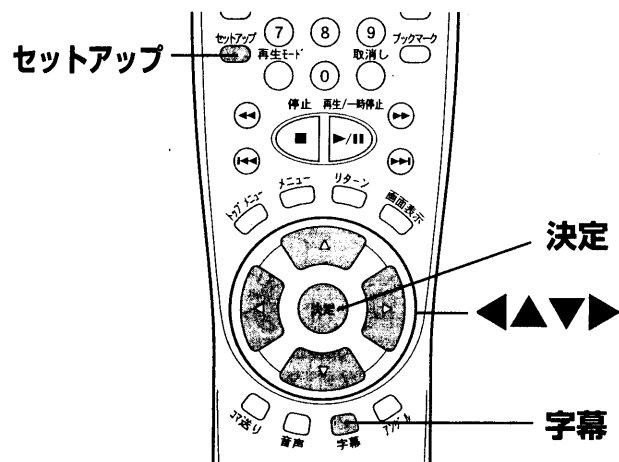
●ビデオCDに収録されているトラック画面が番号順に表示されます。

応用操作

メモ

- ビデオCD (Ver.1.1) (Ver.2.0) のメニューを「オフ」にすると、ディスクの選択ができます。

複数の字幕言語が記録されたDVDでは、字幕言語を選ぶことができます。

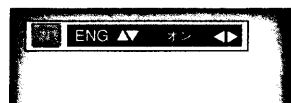


字幕ボタンで選ぶ

1 字幕ボタンを押す



2 ▲▼ボタンを押して言語を選ぶ



(英語の場合…… (ENG))
(日本語の場合…… (JPN))

3 ◀▶ボタンを押して字幕の表示/非表示を切り換える



●言語名は略語で表示されます。

メニューボタンで選ぶ

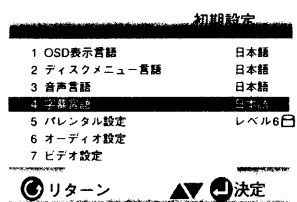
DVDの再生

1 セットアップボタンを押す

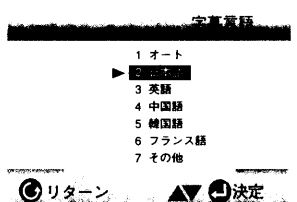


●初期設定画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで「字幕言語」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲▼ボタンで言語を選び、決定ボタンを押す

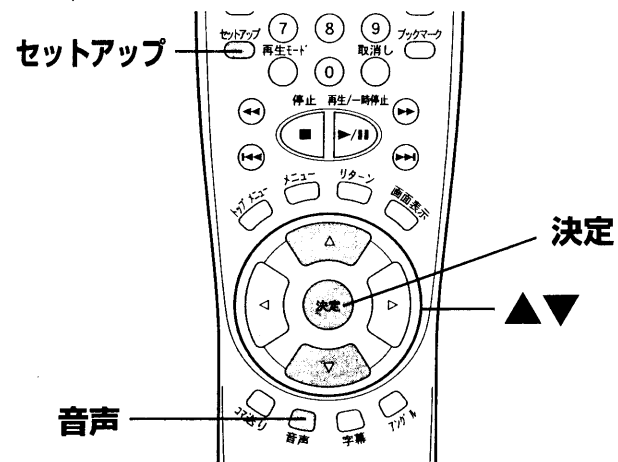


メモ

- 選べる言語は、ディスクにより異なります。
- ディスクによっては、言語を選べないものがあります。
- DVDディスクには2言語まで記録できます。
- DVDを再生するときにも、ディスクと同じ字幕言語に設定できます。

「OSD表示言語を設定する」**99**を参照してください。

複数の音声言語が記録されたDVDでは、音声言語を選ぶことができます。

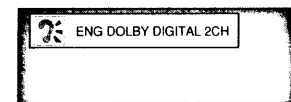


音声ボタンで選ぶ

1 音声ボタンを押す



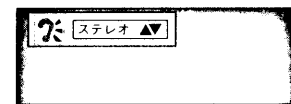
2 ▲▼ボタンを押して言語を選ぶ (DVDの場合)



(英語の場合…… (ENG))
(日本語の場合…… (JPN))

●言語名は略語で表示されます。

3 ▲▼ボタンを押して音声を選ぶ (ビデオCD、CDの場合)



(STEREOの場合)

- STEREO
L(左)の音声は左のスピーカーから、R(右)の音声から右のスピーカーから出ます。
- R CHANNEL
R(右)の音声は左右両方のスピーカーから出ます。
- L CHANNEL
L(左)の音声は左右両方のスピーカーから出ます。

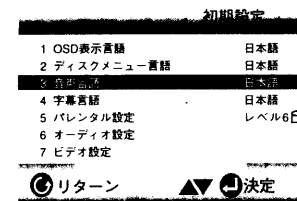
メニューボタンで選ぶ

DVDの再生

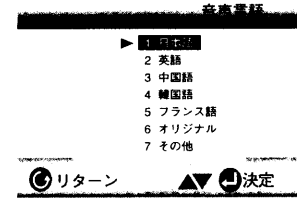
1 セットアップボタンを押す



2 ▲▼ボタンで「音声言語」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲▼ボタンで言語を選び、決定ボタンを押す



●言語が設定されます。

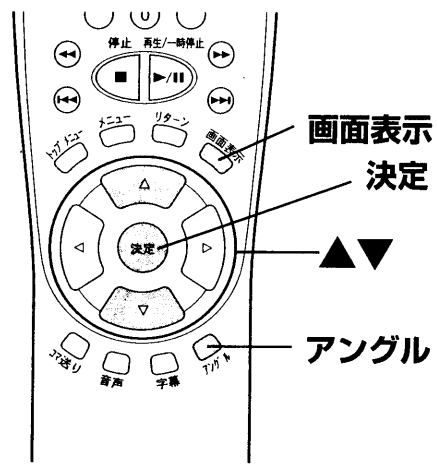
ビデオCDの再生

●Ver.2.0のディスクではメニューボタンが機能しますが、Ver.1.1のディスクやCDでは、メニューボタンが機能しません。

メモ

- 選べる言語は、ディスクにより異なります。
- ディスクによっては、言語を選べないものがあります。
- DVDを再生するときにも、ディスクと同じ音声言語に設定できます。「OSD表示言語を設定する」**99**を参照してください。

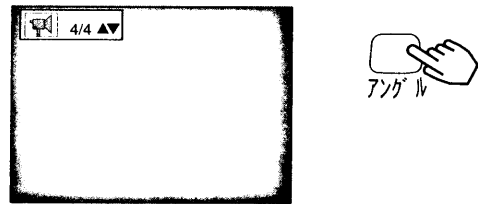
複数の方面から映された映像が記録されたDVDで選ぶことができます。



再生中、画面にアングル(ア)が表示されていることを確認する

分母…記録されているアングルの総数を示します。
分子…選択されているアングル番号を示します。

- 1 ア(ア)が表示されているときに、アングルボタンを押す



(4つのアングルが記録されている場合)

- 2 ▲▼ボタンでアングルを切り換えて、決定ボタンを押す

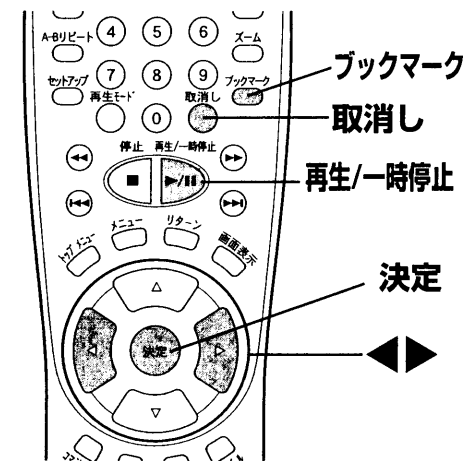


- 3 アングルボタンをもう一度押すと、表示が消えます



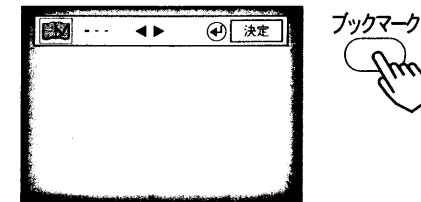
- マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。また、ディスクによっては、アングルを切り換えられないものがあります。
- マルチアングル機能は、マルチカメラアングル機能で記録されたディスク以外では動きません。

ブックマークを付けた場面から素早く再生することができます。
ブックマークは3箇所まで記憶できます。



ブックマーク機能を使う

- 1 再生中にブックマークボタンを押す



●(B)が表示されます。

- 2 ◀▶ボタンでブックマークの番号を選ぶ

●---が左から1、2、3の順に設定されます。

- 3 ブックマークを付けたい場面で、決定ボタンを押す



- ボタンを押すと---が番号(1、2、3)に切り換わります。
- ブックマークは3箇所まで付けられます。

- 4 ブックマークボタンを押すと画面の表示が消えます



ブックマークを付けた場面から再生する

- 1 再生中にブックマークボタンを押す



- 2 ◀▶ボタンで再生を始めたい場面のブックマークを選ぶ

- 3 再生/一時停止ボタンを押す

再生/一時停止



●ブックマークを付けた場面から再生が始まります。

ブックマークを取り消す

- 1 再生中にブックマークボタンを押す



- 2 ◀▶ボタンで取消したい場面のブックマークを選ぶ

- 3 取消しボタンを押す

取消し



ブックマーク



- ブックマークが取消されます。
- ブックマークボタンを押すと画面の表示が消えます。

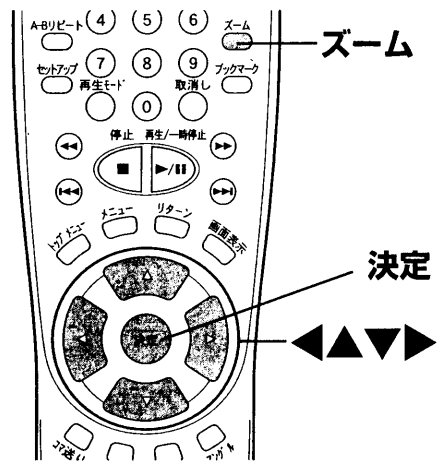


- ビデオCD Ver.2.0のディスクでは、この機能が動きません。
- ディスクによっては、この機能は動きません。

画面の一部を拡大する(ズーム)



画面の一部を2倍、4倍と拡大することができます。



ご注意

- ズームすると、通常の画面では見えない部分も拡大されるため、画質は劣化します。2倍よりも4倍の画質が画質は劣化します。
- ズーム中は、画像がゆれることがあります。

メモ

- ビデオCDは、ズーム機能を使用することができません。
- ズーム機能は、一部のDVDメニューでは使用できません。

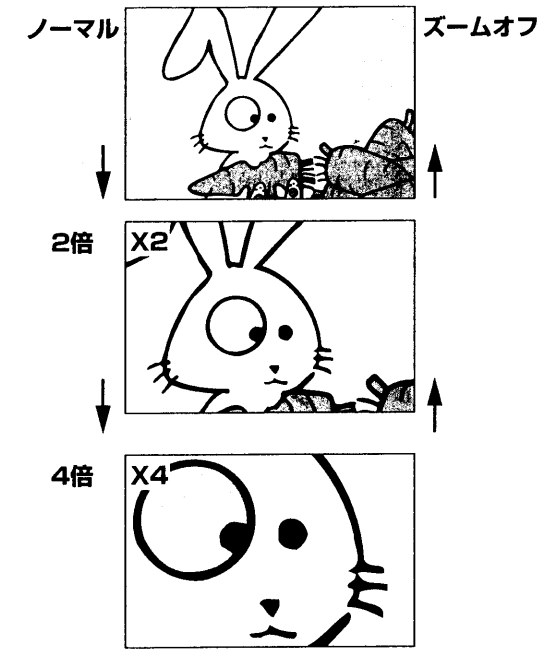
1 再生中、または再生一時/停止中にズームボタンを押す



- が画面に表示されます。

2 ◀▶ボタンで拡大したい位置を選ぶ

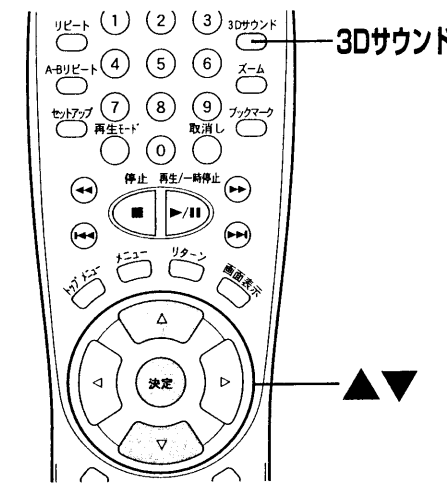
3 決定ボタンを押す



- ボタンを押すごとにノーマル/2倍/4倍と切り換わります。(DVDの場合)
- ボタンを押すごとにノーマル/2倍と切り換わります。(ビデオCDの場合)

3Dサウンド音声で再生する DVD (VCD CD)

本機のアナログ音声出力端子と接続したオーディオシステムやテレビが、通常の2つのスピーカーのステレオであっても、ドルビーデジタル5.1チャンネルで収録されたDVDを、5つのスピーカーがあるかのような3Dサウンド音声で再生します。



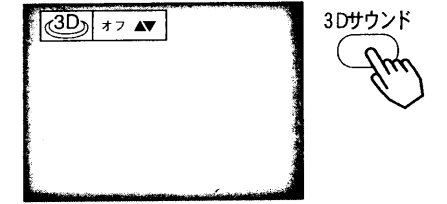
バーチャルサラウンド音声で再生する

1 初期設定の「デジタル出力」が「LPCM」に設定されていることを確認する

- デジタル出力の設定を行うには「音声を設定する(オーディオ設定)」を参照してください。42

2 DVDを再生する

3 再生中に3Dサウンドボタンを押す



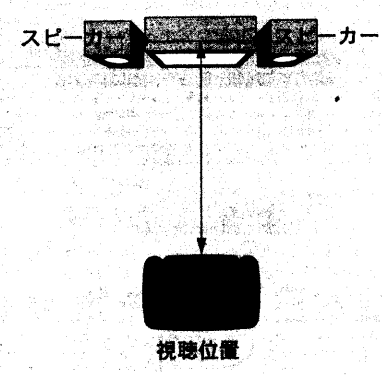
- オンのときは表示窓に3Dサウンドマークが表示されます。

4 ▲▼ボタンを押す

- ボタンを押すごとにバーチャルサウンドオンとオフに切り換わります。

メモ

- 3Dサウンドは、DVDの、5.1チャンネルなどのマルチチャンネルで収録されたドルビーデジタル音声だけで働きます。
- LPCM、DTSを含むディスクでは、3Dサウンド機能が働きません。
- 初期設定の「デジタル出力」が「ビットストリーム」に設定されていると、3Dサウンド機能が働きません。
- ディスクや場面によっては、3Dサウンド効果がわかりにくいことがあります。
- 3Dサウンドは、2つのスピーカーの中央線上で一番効果があります。

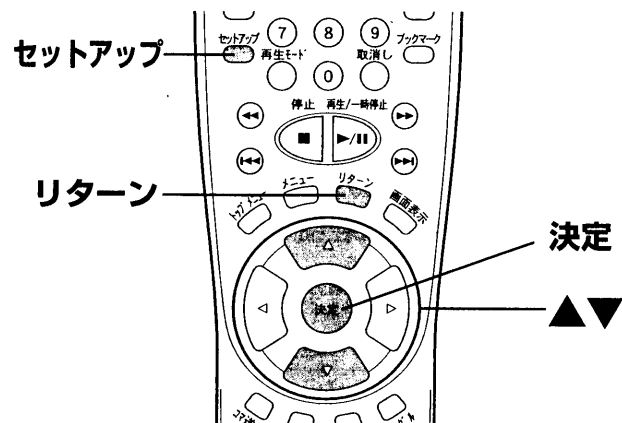


- テレビやオーディオシステムのサラウンド機能は「切」にしてお使いください。

応用操作

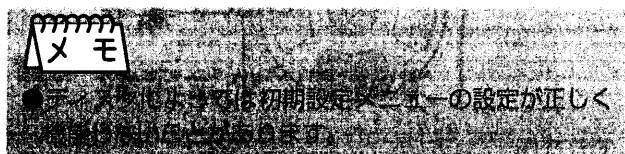


初期設定メニューでは、本機のような設定項目(言語、パレンタル、音声、画面など)をお好みに合わせて変更することができます。

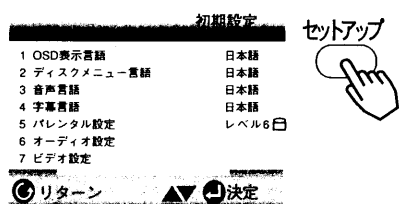


2 ▲▼ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

- 各項目の設定場面が表示されます。
- もう一度セットアップボタンを押すと、初期設定メニューが消えます。



1 停止中にセットアップボタンを押す

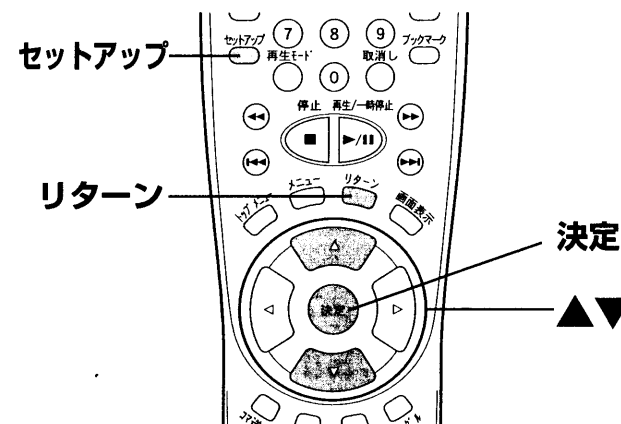


- ①OSD 表示言語
画面に表示される言語を設定します。**39**
- ②ディスクメニュー言語
ディスクメニュー画面に表示される言語を設定します。**39**
- ③音声言語
ディスクの音声言語を設定します。**40**
- ④字幕言語
画面に表示されるディスクの字幕言語を設定します。**40**
- ⑤パレンタル設定
視聴制限を設定します。映像内容によって再生制限をかける機能です。**41**
- ⑥オーディオ設定
本機の音声出力端子から出力する音声を設定します。**42**
- ⑦ビデオ設定
画面の調整、表示窓の明るさなどを設定します。**43**

43



OSD表示言語、ディスクメニュー言語、音声言語、字幕言語の設定を初期設定メニューであらかじめ変更しておく、再生するときに自動的に変更された言語で再生されます。

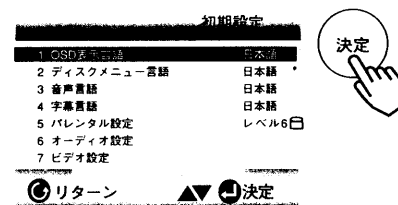


OSD表示言語を設定する

1 停止中にセットアップボタンを押す



2 ▲▼ボタンで「OSD表示言語」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲▼ボタンで「日本語」を選び、決定ボタンを押す



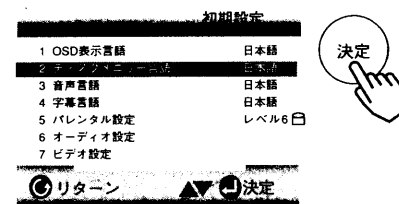
- 「日本語」が設定され、初期設定メニューに戻ります。
- リターンボタンを押すと、初期設定メニューが消えます。

ディスクメニュー言語を設定する

1 停止中にセットアップボタンを押す



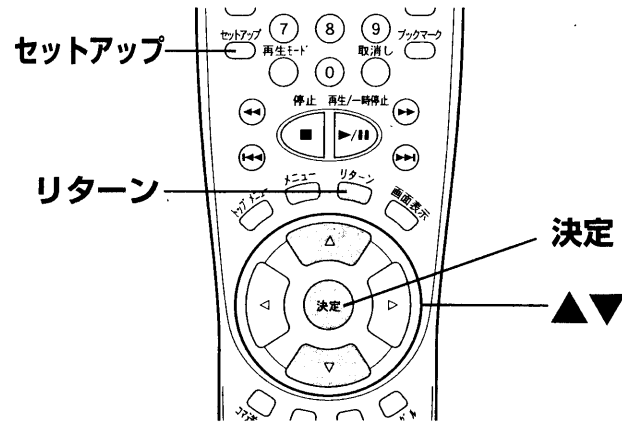
2 ▲▼ボタンで「ディスクメニュー言語」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲▼ボタンで「日本語」を選び、決定ボタンを押す



- 「日本語」が設定され、初期設定メニューに戻ります。
- 選びたい言語が表示されない場合は「その他」を選んでください。
- リターンボタンを押すと、初期設定メニューが消えます。

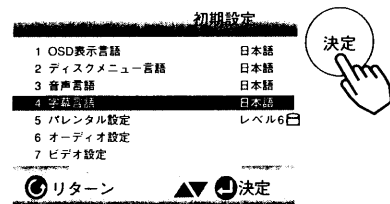


字幕言語を設定する

1 停止中にセットアップボタンを押す



2 ▲▼ボタンで「字幕言語」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲▼ボタンで「日本語」を選び、決定ボタンを押す



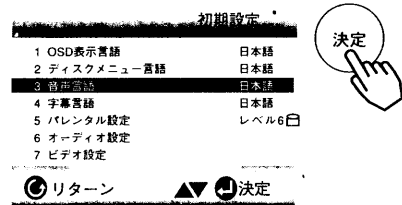
- 「日本語」が設定され、初期設定メニューに戻ります。
- 「音声言語」と同じ言語に設定するには「オート」を選んでください。
- 選びたい言語が表示されない場合は、「その他」を選んでください。

音声言語を設定する

1 停止中にセットアップボタンを押す



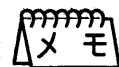
2 ▲▼ボタンで「音声言語」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲▼ボタンで「日本語」を選び、決定ボタンを押す

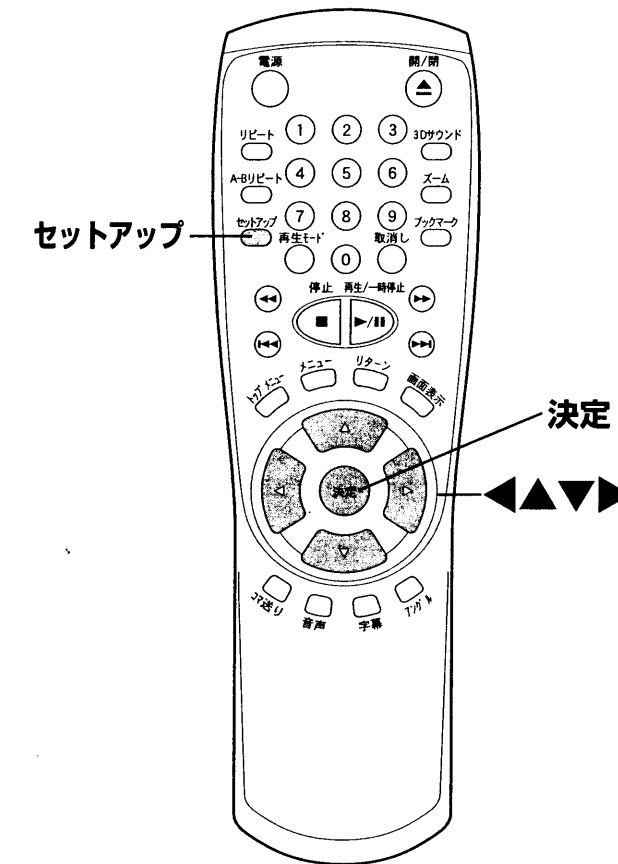


- 「日本語」が設定され、初期設定メニューに戻ります。
- ディスクに初期設定されている音声言語を選ぶには、「オリジナル」を選んでください。
- 選びたい言語が表示されない場合は、「その他」を選んでください。



- 設定中にメニュー画面を消すには、リターンボタンを押してください。
- 選んだ言語がディスクに記録されていない場合は、ディスクに初期設定されている言語が設定されます。

視聴制限対応のDVDを再生した場合、暴力シーンなど子供に見せたくない部分を飛ばして試みる事ができます。

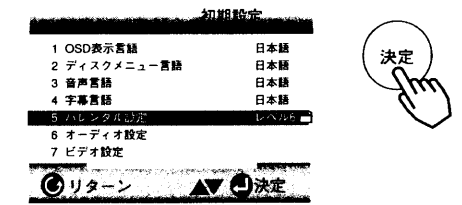


1 停止中にセットアップボタンを押す



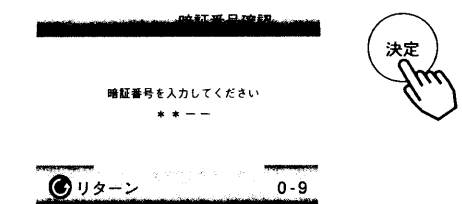
- 初期設定画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンでパレンタル設定を選び、決定ボタンを押す



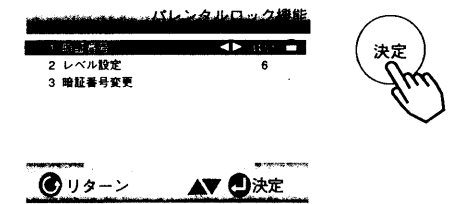
- 暗証番号入力画面が表示されます。

3 数字ボタンで暗証番号を入力し、決定ボタンを押す



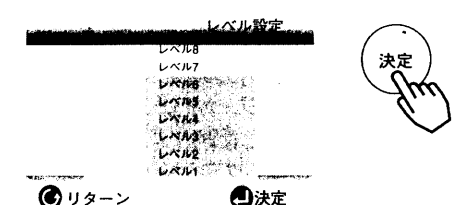
- パレンタルロック機能画面が表示されます。
- 暗証番号は、0~9までの数字を入力します。

4 ▲▼ボタンでレベル設定を選び、決定ボタンを押す



- レベル設定画面が表示されます。

5 決定ボタンで変更するレベルを選び、決定ボタンを押す



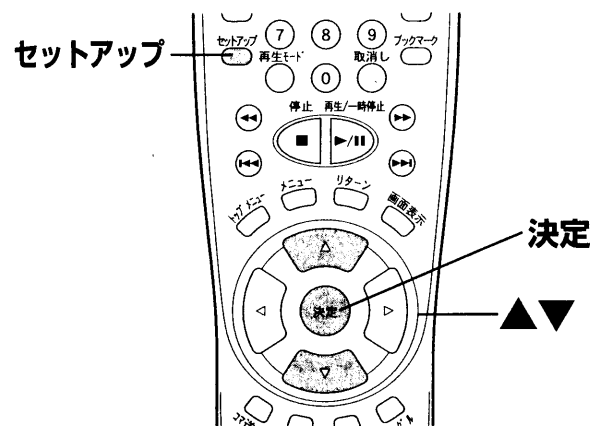
- パレンタルロック機能画面に戻ります。

メモ
●ディスクによっては、パレンタルロックがかからないものがあります。

(オーディオ設定)を設定する



お好みの音声に切り換えることができます。

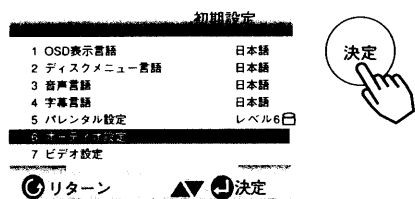


(オーディオ設定)を設定する

1 停止中にセットアップボタンを押す

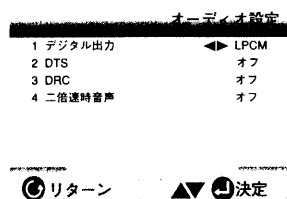


2 ▲▼ ボタンで「オーディオ設定」を選び、決定ボタンを押す



●オーディオ設定画面が表示されます。

3 ▲▼ ボタンで希望するアイテムを選び、◀▶ ボタンで出力アイテムを選ぶ



①デジタル出力

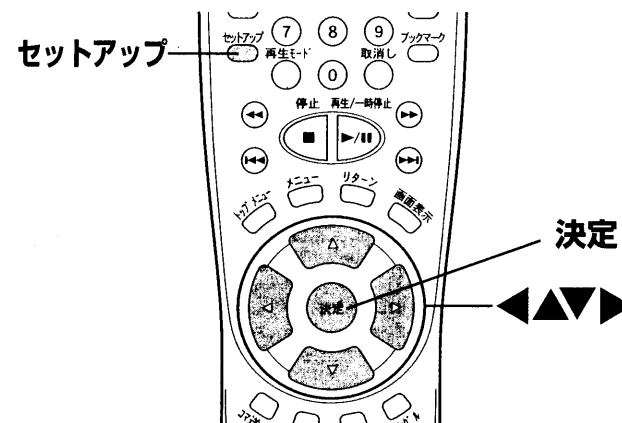
① LPCM：リニアPCMの音声はリニアPCMでドルビーデジタルの音声はリニアPCMに変換して出力します。

●通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプ、MD、DATなどのデジタル入力端子と接続するときに設定します。

●3Dサウンドを設定するときはLPCMを選びます。

「3Dサウンド音声で再生する」を参照してください。37

画面を設定する(ビデオ設定)

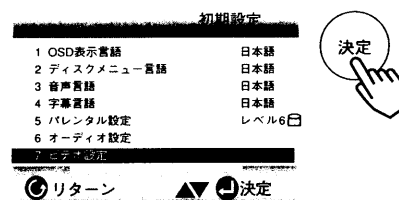


1 停止中にセットアップボタンを押す

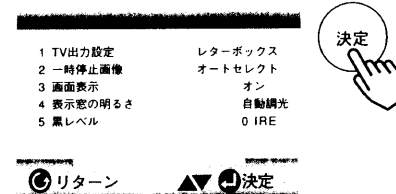


●初期設定画面が表示されます

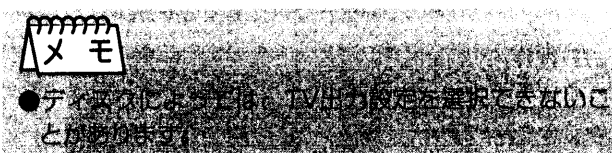
2 ▲▼ ボタンで「ビデオ設定」を選ぶ



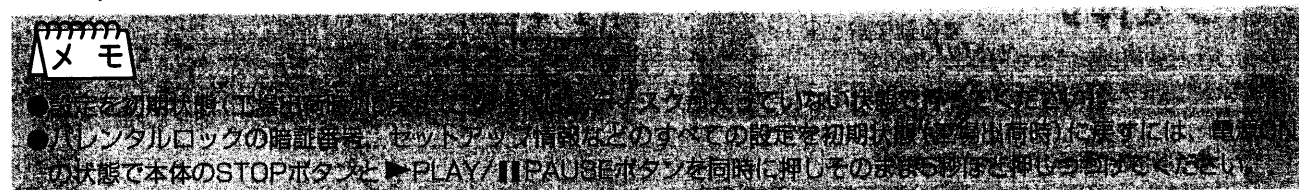
3 ◀▶ ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す



●もう一度セットアップボタンを押すとセットアップ画面が終了します。



ビデオ設定	①TV出力設定	接続するテレビのアスペクト比を設定します。 この設定は、停止中のみ可能です。	4:3レターボックス (通常のテレビ)	4:3バンスキャン (通常のテレビ) ワイドTV
	②黒レベル調整	映像出力端子から出力される映像の黒色の画質を変更できます。	0 IRE (少し暗い)	7.5 IRE (明るい)
	③画面表示	画面に表示される文字の「オン」「オフ」を設定します。	オン	オフ
	④一時停止画像	静止画再生中に画面が揺れる場合は、「フリッカーレス」にしてください。画面の揺れがおさまります。	オートセレクト	フリッカーレス 高精細
	⑤表示窓の明るさ	表示窓の明るさを変更します。 → 明るい → 暗い → 自動調光	明るい	暗い 自動調光



用語

■ドルビーデジタル (AC-3)

DVDに記録されている圧縮されたデジタル音声のひとつです。DVDには普通のステレオ音声をドルビーデジタルで記録したディスクや最大5チャンネルのサラウンド音声と低音専用チャンネルをドルビーデジタルで記録したディスクがあります。本機では、サラウンド音声を2チャンネルにダウンミックスして再生するほか、バーチャルサラウンドでも楽しめます。本機のデジタル出力端子をドルビーデジタルデコーダーやデコーダー内蔵アンプのデジタル入力端子に接続すると、サラウンド音声が楽しめます。

■DTS (Digital Theater System)

DVDに記録される圧縮されたデジタル音声のひとつです。本機のデジタル出力端子を、DTSデコーダーやデコーダー内蔵アンプのデジタル入力端子に接続すると、サラウンド音声が楽しめます。

■LinearPCM (Pulse Code Modulation)

CDやDVDの圧縮されていないデジタル音声のことです。

■MPEGオーディオ

MPEG方式の圧縮により記録されたデジタル音声のことです。ビデオCDやDVDに使われています。

■タイトル

DVDに記録されている映像や曲の一番大きな単位のことです。それぞれのタイトルに付けられた番号のことをタイトル番号といい、このタイトル番号が記録されているディスクでは、タイトル番号を選んで再生するタイトルサーチなどの操作ができます。

■チャプター

DVDに記録されている映像や曲のタイトルより小さい単位のことです。それぞれのチャプターに付けられた番号のことをチャプター番号といい、このチャプター番号が記録されているディスクでは、チャプター番号を選んで再生するチャプターサーチなどの操作ができます。

■トラック

CDやビデオCDに記録されている映像や曲のことです。それぞれのトラックに付けられた番号のことをトラック番号といい、このトラック番号が記録されているディスクでは、トラック番号を選んで再生するトラックサーチなどの操作ができます。

■ビデオCD

VHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術 (MPEG1方式) により最大74分のデジタル画像と音声連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる「プレイバックコントロール (PBC)」対応のディスクがあります。

■プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (Ver.2.0) に記憶されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記憶されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高精細/標準の静止画も楽しむことができます。

■高精細静止画

ビデオCDのなかに高精細な静止画が入っている場合は、動画の4倍の解像度で楽しむことができます。

■マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですがすべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点 (カメラ) を選べれば、見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影した画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルといいます。

■アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4:3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

■パレンタルレベル

英語の綴りでは、PARENTALです。これは、PARENT (親、両親) からきています。これから解るように、親が子に見せたくない映像に制限がついているものです。

■字幕言語

映画などでおなじみの字幕言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国分記録することができ、その中からお好みの言語を選んで楽しむことができます。

■リージョンコード

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号 (リージョンコード) が設けられており、再生するディスクに記載されている再生可能地域番号にプレーヤーの再生可能地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機の再生可能地域番号は2番です。

故障かな?と思ったら

電源プラグがはずれていたりすると故障と間違えることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店、または「ご相談窓口一覧表」のご相談窓口にお問い合わせください。

症状	考えられる原因	ページ
電源が入らない	●電源コードが正しく接続されていない。	16
映像がでない、映像が乱れる	●AVコードが正しく接続されていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●本機はマクロピジョン方式のコピーガードに対応していません。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入るなどの症状がでるものもありますが、故障ではありません。 ●本機をテレビに直接接続してください。また、本機からの映像をビデオデッキを通してテレビでご覧になると、コピーガードの働きにより映像が乱れることがあります。	16 12 16
音が出ない、雑音が多い	●AVコードが正しく接続されていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●一時停止、またはスロー再生、または高速再生になっている。 ●デジタル出力の設定が適切でない。	16 12 21 42
リモコンで操作できない	●リモコンと本体との距離が離れすぎている。 ●リモコン受信窓との角度があまりすぎる。 ●リモコンの乾電池が消耗している。 ●リモコン受信窓に直射日光など強い光が当たっている。	13
再生できない	●ディスクが正しくセットされていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●本機で再生できないディスクを入れている。 ●本体の内部が結露している。 ●パレンタルロックがかかっている。 ●ディスクのリージョンコードが異なっている。	18 12 12 7 41 12
いろいろな再生ができない	●DVDではディスクによって特定の操作が禁止されていることがあります。 ディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。	

このようなときは	考えられる原因	ページ
DVDの字幕言語を変更できない	●再生しているDVDに複数の字幕言語が記録されていない。	32
DVDの音声言語を変更できない	●再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。	33
DVDのアングルを変更できない	●再生している場面に複数のアングルが記録されていない。	34
DVDを最初から再生できない	●停止、再生すると最初から再生しないディスクもあります。 メニューボタンやトップメニューボタンで操作してください。	22 23
メニュー画面が英語で表示される	●OSD表示言語の設定が適切でない。	39
ビデオCDのメニュー画面が表示されない	●PBC対応でないビデオCDを再生している。 ●PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。 ●PBCがオフになっている。	22

ご注意
●静電気を帯びた手で本体を触ると、本体が正常に動作しなくなる場合があります。本体を触る際は、必ず静電気を帯びないようご注意ください。

リセットについて

本機が普通に操作できないときは、電源プラグをコンセントから抜き、もう一度差し込んでください。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
☎ 0120-3121-68

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
☎ 0120-3121-11

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

修理ご相談窓口

北海道地区			関東・甲信越地区		
担当地域	拠点名	所在地	担当地域	拠点名	所在地
北海道	札幌	札幌市白石区東札幌2条4-1-10	東京都	北東京	足立区千住閑屋町11-1
	旭川	旭川市東光10条3-4-14		西東京	豊島区西池袋4-23-11
	北見	北見市常盤町3-2-21		南東京	世田谷区三軒茶屋2-48-8
	釧路	釧路市新橋大通1-1-5	三鷹	三鷹市上連雀7-32-32	
	帯広	帯広市緑ヶ丘2条通り1-2-7	神奈川県	横浜	横浜市戸塚区品濃町531-1
	小樽	小樽市錦町5-12		川崎	川崎市高津区上作延553-1
	苫小牧	苫小牧市住吉町2-5-2	厚木	厚木市長谷260-27	
室蘭	室蘭市中島町3-14-13	埼玉県	大宮	大宮市東大成町2-246	
函館	函館市亀田町7-12		越谷	越谷市大杉458-3	
			三芳	入間郡三芳町上富1828-1	
東北地区			千葉県	千葉	千葉市花見川区幕張町1-7681
青森県	青森	青森市青柳1-16-4		柏	柏市中央2-9-16
	むつ	むつ市緑町17-56		船橋	船橋市高瀬町62-10
岩手県	弘前	弘前市外崎4-2-3	鎌子	鎌子市唐子町21-3	
	八戸	八戸市大字根城字白山平1-7	東金	東金市福儀3-397	
宮城県	盛岡	盛岡市東仙北1-12-12	木更津	木更津市潮浜1-17-29	
	水沢	水沢市東中通り2-4-38	館山	館山市八幡66-1	
秋田県	宮城	仙台市宮城野区扇町3-2-9	茨城県	水戸	水戸市水府町1548
	古川	古川市古川字上古川1150		日立	日立市幸町2-2-10
山形県	石巻	桃生郡河南町鹿又道の前499-1	鹿嶋	鹿嶋市神向寺大芝311-1	
	秋田	秋田市土崎港相染町字沖谷地151-1	土浦	土浦市荒川沖字一里塚5-102	
福島県	大館	大館市御成町3-1-9	栃木県	宇都宮	宇都宮市御幸ヶ原町40-5
	南	大曲市福住町4-16		群馬県	伊勢崎
新潟県	山梨	山梨市蔵王松ヶ丘1-1-33	山梨県	山梨	中巨摩郡田富町流通団地1-8-2
	庄内	酒田市東町1-7-1	長野県	長野	長野市南長池763-3
静岡県	新潟	新潟市紫竹山5-5-29	松本	松本市芳川村井町1280-1	
	静岡	静岡市東蔵王2-7-37	新潟	新潟市佐渡郡金井町泉1031-6	
静岡県	新潟	新潟市上香貫横島町1354-2	新潟	新潟市上越市栄町6-4	
	静岡	静岡市豊田3-6-27	静岡県	静岡	静岡市豊田3-6-27
静岡県	静岡	静岡市篠ヶ瀬町1255	静岡県	静岡	静岡市篠ヶ瀬町1255
	静岡	静岡市篠ヶ瀬町1255			

修理ご相談窓口

中部地区			中国地区			
担当地域	拠点名	所在地	担当地域	拠点名	所在地	
愛知県	名古屋東	名古屋市守山区川宮町55	鳥取県	鳥取	鳥取市千代水3-106	
	名古屋西	名古屋市中川区篠原橋通1-1		島根県	山陰	松江市西津田2-2-5
	三河	岡崎市大樹寺2-12-6			浜田	浜田市下府町388-40
岐阜県	豊橋	豊橋市東田町151-1	岡山県	岡山	岡山市延友189-3	
	岐阜	岐阜市宇佐南2-3-8		津山	津山市小原109	
三重県	高山	高山市岡本町3-176	広島県	広島	広島市西区観音新町1-7-17	
	東濃	瑞浪市明世町山野内字沼305-1		備後	福山市高西町川尻110-1	
三重県	北三重	四日市市羽津中2-1-6	山口県	備後	呉市阿賀中央3-1-7	
	南三重	度会郡玉城町佐田字銚子口1820-1		山口	吉敷郡小郡町大字上郷字仁保津下5220	
静岡県	沼津	沼津市上香貫横島町1354-2	山口県	山口	下松市潮音町2-2-5	
	静岡	静岡市豊田3-6-27				
静岡県	浜松	浜松市篠ヶ瀬町1255	四国地区			
	富山県	富山	富山市向新庄857-1	担当地域	拠点名	所在地
石川県	石川	石川郡野々市町堀内5-20	徳島県	徳島	徳島市応神町古川字日の上15-2	
福井県	福井	福井市高木中央1-1402	香川県	香川	坂出市林田町4285-143	
関西地区			愛媛県	愛媛	松山市内宮町2007	
大阪府	京阪	門真市大字岸和田1551	高知県	高知	高知市朝倉西町2-5-5	
	北大阪	大阪市福島区海老江1-5-79				
奈良県	阪南	堺市鳳東町7-771				
	奈良	天理市二階堂上ノ庄町342-1	九州・沖縄地区			
兵庫県	神戸	神戸市東灘区甲南町1-3-8	福岡県	福岡	福岡市博多区諸岡3-21-28	
	西神戸	神戸市西区平野町下村251	佐賀県	北九州	北九州市小倉北区篠崎1-4-8	
姫路	姫路市飾磨区構4-81	久留米		久留米市野中町1440-1		
京都府	阪神	伊丹市昆陽3-254	佐賀県	大牟田	大牟田市天領町1-201	
	豊岡	豊岡市桜町15-15		佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸3181	
和歌山県	京都	京都市右京区西京極豆田町17	長崎県	長崎	西彼杵郡長与町高田郷1275-1	
	福知山	福知山市字堀1965-2		佐世保	佐世保市山紙町329-4	
滋賀県	和歌山	和歌山市井ノ口543-1	熊本県	五島	福江市下大津町724-7	
	田辺	田辺市稲成町字沖代80-2		熊本県	熊本	熊本市春竹町春竹500
和歌山県	新宮	新宮市下田2-3-12	大分県		八代	八代市田中西町10-10
	和歌山	和歌山市井ノ口543-1		天草	本渡市今益新町3444	
和歌山県	和歌山	和歌山市井ノ口543-1	大分県	大分	大分市豊海5-4-12	
	田辺	田辺市稲成町字沖代80-2		中津	中津市大字下池永字北原564-1	
和歌山県	和歌山	和歌山市井ノ口543-1	宮崎県	佐伯	佐伯市中村南町9-5	
	田辺	田辺市稲成町字沖代80-2		宮崎	宮崎市大字芳士589-1	
和歌山県	和歌山	和歌山市井ノ口543-1	鹿児島県	延岡	延岡市旭ヶ丘6-1-24	
	田辺	田辺市稲成町字沖代80-2		都城	都城市葛浦原町24-2-5	
和歌山県	和歌山	和歌山市井ノ口543-1	鹿児島県	鹿屋	鹿屋市宇宿2-8-2	
	田辺	田辺市稲成町字沖代80-2		鹿屋	鹿屋市新生町10-4	
和歌山県	和歌山	和歌山市井ノ口543-1	沖縄県	那覇	那覇市字安謝620-187	
	田辺	田辺市稲成町字沖代80-2				

一般ご相談窓口 家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

地区お客様相談センター		
担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	(011) 833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	(022) 222-5088	仙台市青葉区片平1-3-30(日本コロンビア仙台ビル)
関東・甲信越地区	(03) 3834-8588	台東区東上野2-7-5(日立家電上野ビル)
中部地区	(052) 795-5088	名古屋市中区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	(078) 431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	(082) 231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	(0877) 47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	(092) 281-5088	福岡市博多区店屋町7-18(博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称・所在地等は変更することがありますのでご了承ください。

ご参考

仕様

一般	形名……………DV-P305 電源……………AC100V、50/60Hz 消費電力……………17W 質量……………3.3kg 外形寸法……………430(幅)×285(奥行)×8.0(高さ)cm 許容動作温度……………+5℃～+35℃ 許容動作湿度……………10～75%(結露のないこと)	
使用ディスク	DVD(デジタルバーサタイルディスク)	読み取り速度……………3.49分/秒 近以値/演奏時間 (片面/シングルレイヤーディスク)…135分
	CD(12cm)(コンパクトディスク)	読み取り速度……………1.2～1.4分/秒 最大演奏時間……………74分
	CD(8cm)(コンパクトディスク)	読み取り速度……………1.2～1.4分/秒 最大演奏時間……………20分
	ビデオCD(12cm)	読み取り速度……………1.2～1.4分/秒 最大演奏時間……………74分(映像+音声)
S映像出力端子	Y出力レベル……………1Vp-p(75Ω) C出力レベル……………286mVp-p(75Ω) 出力端子……………S端子	
映像出力端子	出力レベル……………1Vp-p(75Ω負荷時同期) 出力端子……………ピンジャック	
コンポーネント映像出力端子	Y出力レベル……………1Vp-p(75Ω) Cb出力レベル……………700mVp-p(75Ω) Cr出力レベル……………700mVp-p(75Ω) 出力端子……………ピンジャック	
音声出力端子	音声出力レベル……………200mVrms(1kHz、-20dB) 2ch MIXED出力……………1システム(ピンジャック×2) 音声特性	
	周波数特性 SN比 ダイナミックレンジ 全高調波ひずみ率	CD : 4Hz～20kHz(EIAJ) DVD : 4Hz～22kHz(48kHz サンプリング) 4Hz～44kHz(96kHz サンプリング) 115dB 105dB 0.003%
その他の端子	光/同軸デジタル音声出力 (DTS/AC-3/MPEG2 LPCM.オフ切替可)	同軸端子……………1 光コネクタ……………1
付属品	リモコン(DV-RM300J)……………1個 単3形乾電池……………2個 AVコード……………1本 S映像コード……………1本	

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

保証とアフターサービス(必ずご覧ください)

修理を依頼される時は(出張修理)

☑に従って調べていただき、異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書(別添) 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。 保証期間…お買い上げ日から1年です。	補修用性能部品の最低保有期間 この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。 この期間は通商産業省の指導によるものです。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。	ご不明な点や修理に関するご相談は 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。
---	--	--

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	DVDプレーヤー
形名	DV-P305
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日


製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

長年ご使用のDVDプレーヤーの点検をぜひ!

DVDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

愛情点検 	このようなことはありませんか? ●電源コード、プラグが異常に熱くなる。 ●画像が乱れたり、きれいに映らない。 ●その他の異常や故障がある。	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。
--	--	--

ご参考